

DBJ・JTBF アジア・欧米豪 北海道観光に関する 訪日外国人旅行者の意向調査 (第2回新型コロナ影響度 特別調査)

【調査概要】

- ・(株)日本政策投資銀行(以下、『DBJ』という。)及び(公財)日本交通公社(以下、『JTBF』という。)は、共同で「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」を実施した。本調査は2012年より毎年実施され、2015年からJTBFと共同で実施している。本レポートは、アジア・欧米豪12地域の海外旅行経験者約6,000人を対象に実施したインターネットアンケート(2020年12月1日～12月12日)の調査結果をもとに、「北海道」及び道内の観光地に関して分析及び取りまとめを実施したものである。

【要旨】

I. 新型コロナ禍での世界の動向

- ・新型コロナウイルス感染症(以下、『新型コロナ』という。)の感染拡大は、世界各国において依然として続いている一方、欧米中心にワクチン接種も進んでおり、欧米では外出や限定的な旅行の制限が緩和されつつある。

II. 日本の外国人旅行者誘客の動向

- ・新型コロナ前までのわが国の外国人旅行者数は、2003年(SARS)、2009年(リーマンショック)、2011年(東日本大震災)の3時点以外は増加傾向にある。2019年の外国人旅行者数は約3,188万人と過去最高を記録しており、外国人旅行者旅行消費額も約4.8兆円に達した。
- ・しかしながら、2019年12月末に中国武漢市で確認された新型コロナにより、2020年の外国人旅行者数は412万人にまで減少し、外国人旅行者旅行消費額も7,446億円(試算値)まで落ち込んだ。
- ・北海道も同様に、外国人旅行者延べ宿泊数は、近年増加基調にあったが、新型コロナの影響により、2019年度の延べ宿泊者数は、日本人／外国人旅行者ともに激減した。

III. 訪日外国人観光客の動向(DBJ訪日外国人旅行者調査より)

- ・新型コロナの感染リスクに対する不安は引き続き強いものの、足下のレジャー実施意向はアジア・欧米豪ともに、前回調査(2020年6月)に比べ全般的に上昇しており、また、収束後の海外旅行への意向も高まっている。
- ・観光旅行したい国・地域として、日本の人気は依然として高く、アジア・欧米豪ともにトップとなった。また、日本の観光地への訪問意向のうち、北海道への訪問意向は、東京、富士山、大阪、京都に次いで高い水準にあり、特にアジアからの訪問意向が高いことがうかがえる。
- ・北海道で体験したいことについては、「自然や風景の見物」「雪景色観賞」「伝統的日本料理」「温泉への入浴」「スノーアクティビティを楽しむこと」の割合が高くなっている。他地域と比較すると、特に「雪景色観賞」の割合が高いことが特徴となっており、「さっぽろ雪まつり」のような北海道地方ならではの地域資源が外国人旅行者の興味・関心を引き付けているものと考えられる。
- ・北海道訪問希望者における海外旅行に対する予算・滞在日数は、両項目ともに前回調査と比べ増加・長期化している。特に、宿泊予算においては、アジア旅行者には、宿泊予算を増やし1つの場所での滞在日数を長期化するニーズが高まっており、欧米豪旅行者には、宿泊予算を増やし複数地域を周遊するなど訪問地を増やすニーズが高まっている。

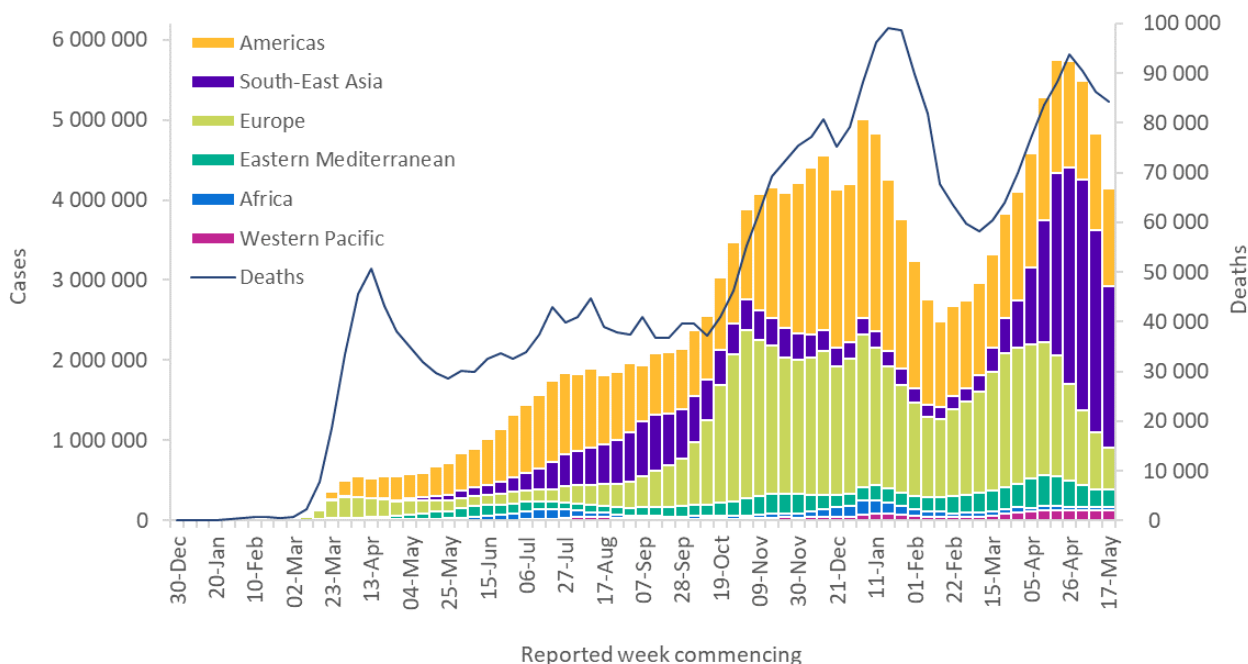
【結び】

- ・本調査から、外国人旅行者における訪日需要は依然として高く、北海道の人気においても高い水準にあることが確かめられた。引き続き外国人旅行者における北海道旅行意向の維持及び向上を図る為には、北海道ならではのコンテンツ強化や北海道旅行のPR活動に取り組んで行くことが重要である。
- ・北海道ならではのコンテンツ強化では、旅行予算及び滞在日数の増加・長期化を踏まえ、宿泊施設におけるサービス拡充や食事における地元の食材を使用した飲食サービス提供などが有効と考えられる。また、日本全体として評価の低い多言語対応も合わせて充実させていくことが求められる。
- ・また、北海道旅行におけるPR活動では、オンラインツアーの実施などが挙げられ、北海道で体験したいことの上位にあるコンテンツを取り上げ、オンラインツアーならではの視点で魅力を発信していくことが有効と考えられる。

I. 新型コロナ禍での世界の動向

地域別感染者数、死亡者数

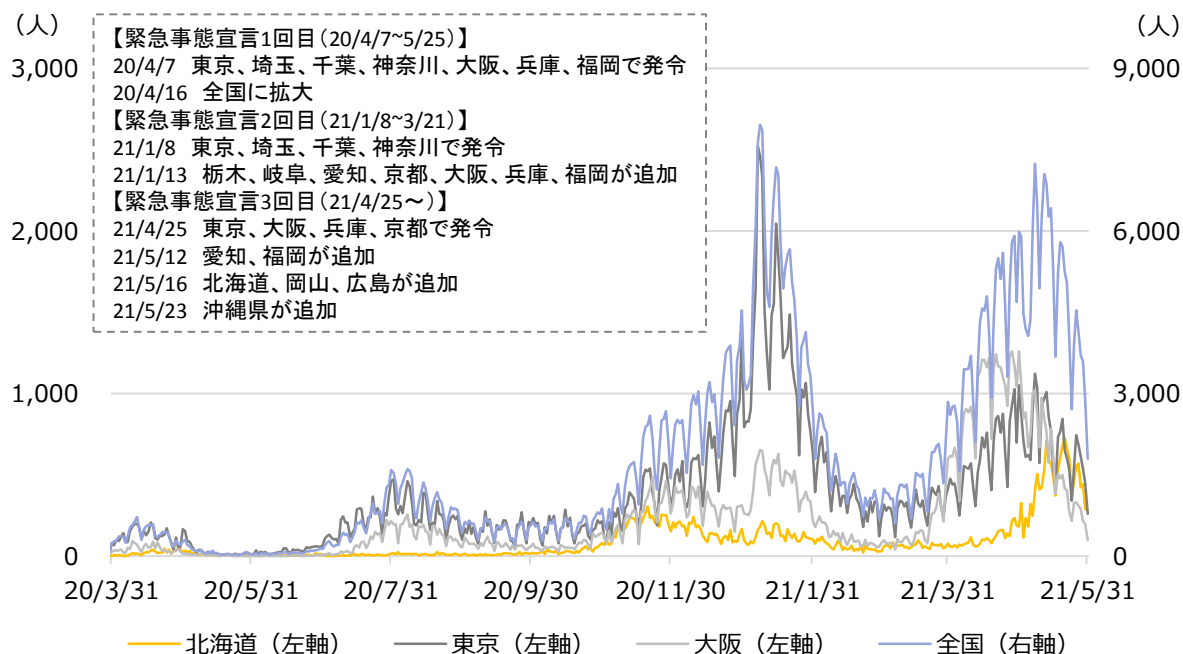
- 新型コロナの感染者数は世界で約1億1,900万人、死者数約264万人となっており、欧米諸国を中心に2020年12月頃～2021年1月をピークに一旦減少した。2月頃から東南アジアと欧州を中心に増加し、4月をピークにして現在は減少傾向にある（2021年5月25日時点）。



出所：WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update（2021/5/25）

国内全体・地域別新規感染者数の推移

- 3度の緊急事態宣言や各都道府県独自のガイドラインを基に新規感染者の拡大を抑えており、今後も感染者数の波は続くことが想定される。



出所：NHK「特設サイト 新型コロナウイルス」より（2021/5/31）

2020年国際観光客の見通し（UNWTO news release）

- UNWTO*の発表（2021年1月）によると、2020年の海外旅行の需要損失影響は以下のとおりである。
- 国際観光客到着数は、前年比74%減（約10億減）で1990年代の水準を下回る落ち込みとなっており、国際観光客収入額で推計1.3兆ドルの損失で1～1.2億人の雇用損失の恐れがある。
- 国際観光到着数が2019年水準に戻るには、2年半～4年かかる見込みで、2024年が目安となっている。

*UNWTO・・・国連世界観光機関。The World Tourism Organization of the United Nationsの略。

新型コロナが国際観光客数に与えた影響



国際観光客到着数
-74%



国際観光客収入の損失
1.3兆米ドル



国際観光客到着数は、
1990年代と同水準



世界の推定GDP損失
2兆米ドル

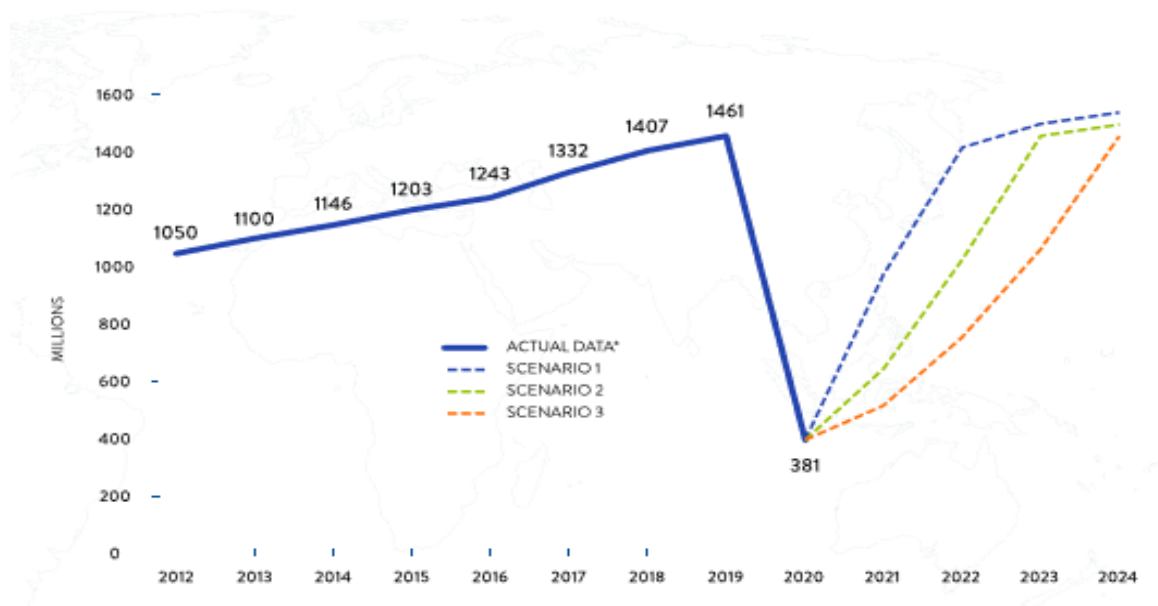


国際観光客到着数は、
10億人の減少



失業リスクにある観光雇用
1～1.2億人

2021年から2024年にかけてのシナリオ



出所：UNWTO（<https://www.unwto.org/covid-19-and-tourism-2020>）

世界のワクチン接種状況

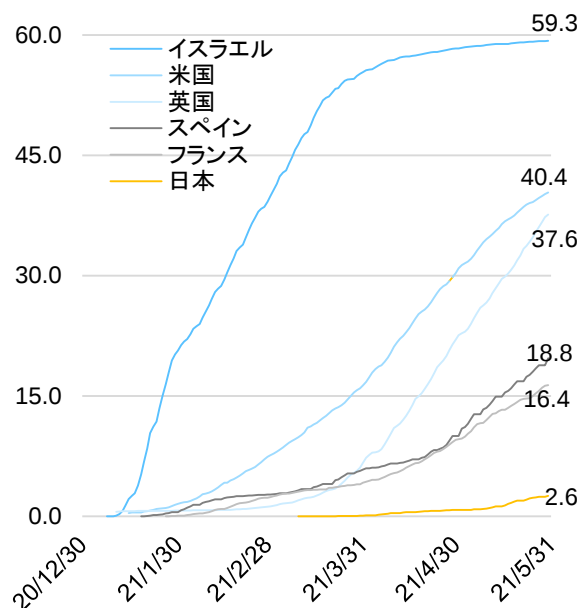
- 臨床試験に入っているワクチン候補は102種類あり、うちPhase4にあたるワクチンは5種類ある。
- 接種を終えた人の割合は、早期のワクチン確保や医療データのデジタル化が進むイスラエルが59%と最も高いほか、バイデン大統領が最優先課題として取り組む米国でも40%に達する。

主なワクチン開発状況

Phase 4	英	AstraZeneca	英・EU・インドなどで承認
	米独	Pfizer/BioNtech	米・英・EU・日本などで承認
	米	Moderna	米・EU・カナダなどで承認
	中	Sinovac	中・ブラジルなどで承認
	中	Sinopharm	主に中国、途上国へ供給
Phase 3 (全18種)	米	J&J	米・EUなどで承認
	米	Novavax	日本においては武田薬品と提携
	露	Gamaleya研究所	8月に露で世界初の承認
	中	Sinopharm (2種)	中国当局にて使用承認申請済
	印	Bharat	インドにて緊急使用承認

出所：WHO（2021/6/1）

ワクチン接種完了率（%）

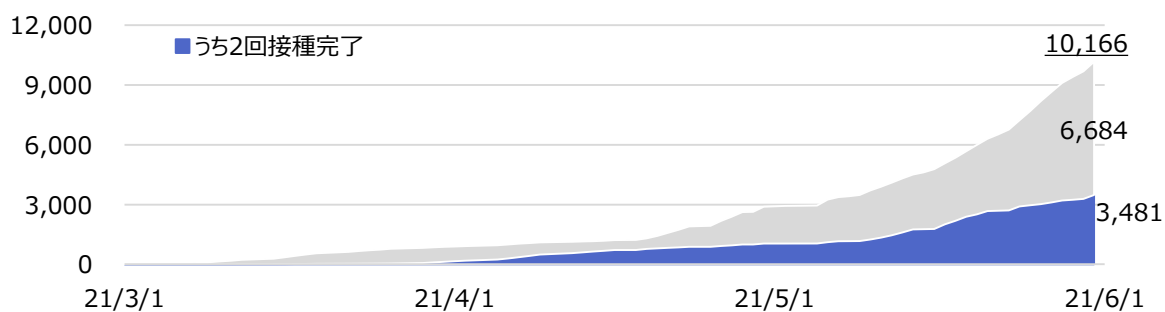


出所：Oxford大学“Our World in Data”

国内ワクチン接種状況の見通し

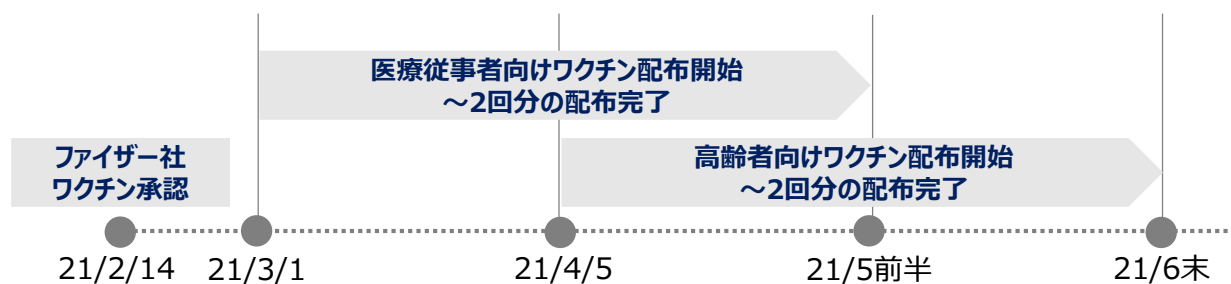
- 2021年2月14日にファイザー社のワクチンが承認されて以降、日本でもワクチン接種が開始された。
- 医療従事者、65歳以上の高齢者に対し、優先的にワクチンを配布し、高齢者向けは2021年6月末までに2回接種に必要な量を各自治体に配布できる見込みにある。

累計ワクチン接種人数（千人）



出所：厚生労働省（2021/6/1）

ワクチン接種スケジュール



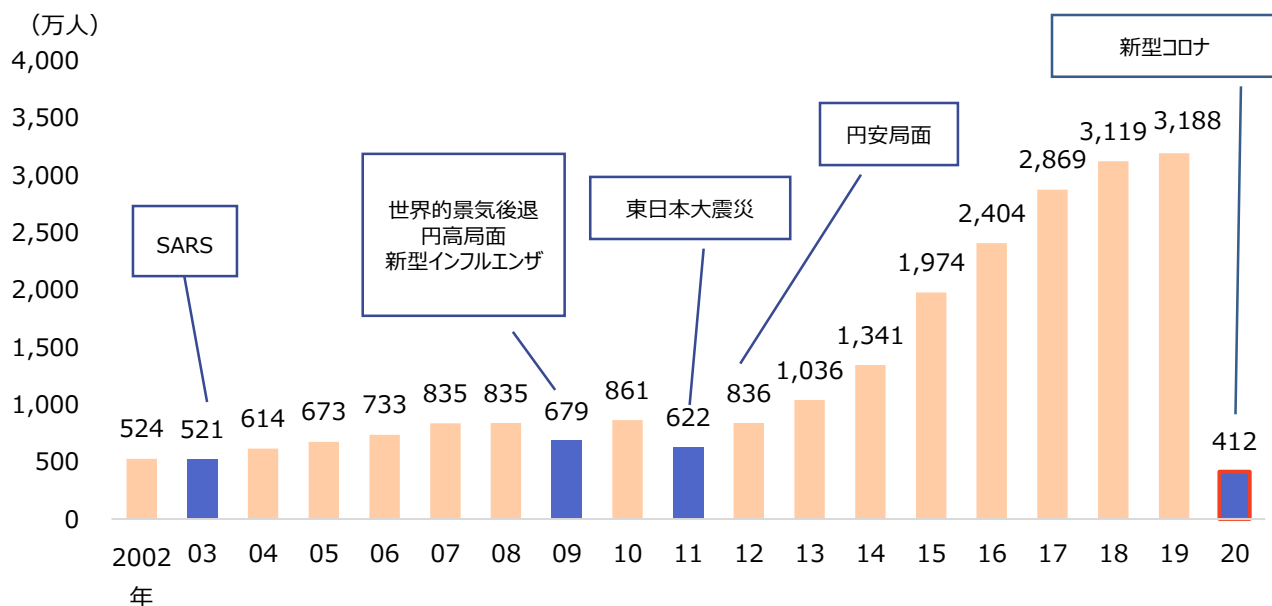
出所：日本政策投資銀行作成

Ⅱ. 日本の外国人旅行者誘客の動向

訪日外客数の推移と訪日外国人旅行消費額の推移

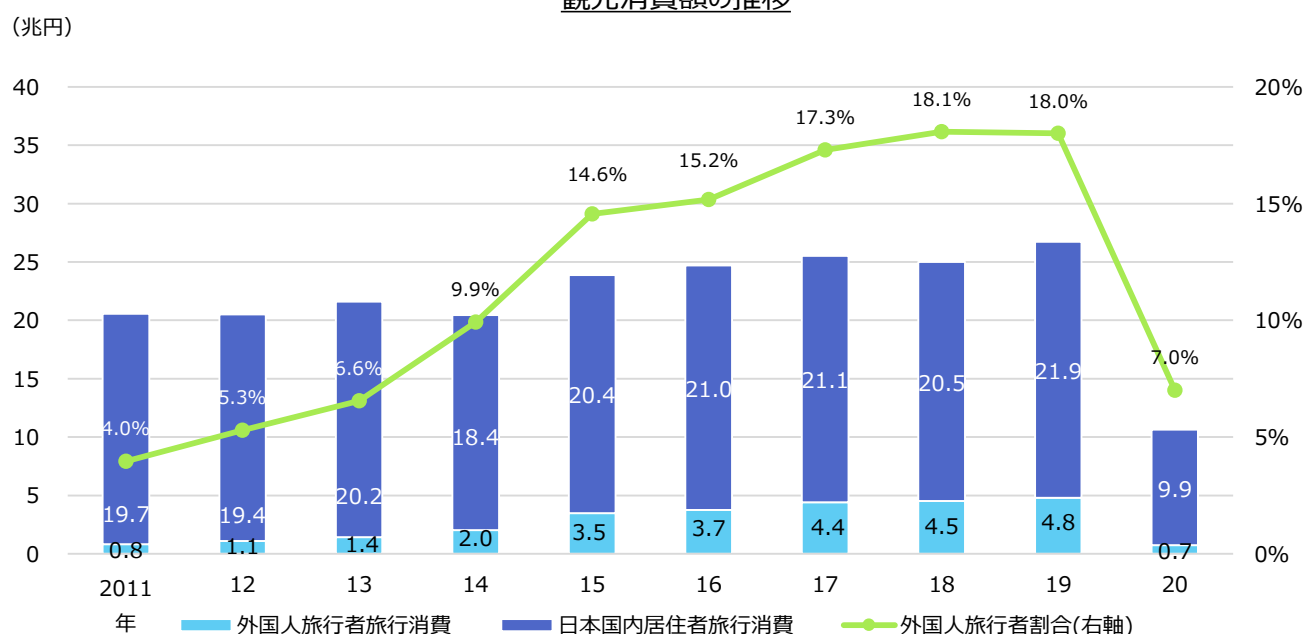
- 政府は2013年に「観光立国実現に向けたアクションプログラム」を策定し、外国人旅行者獲得のための訪日プロモーションとともに、訪日ビザの発給要件の緩和や免除、消費税免税の対象拡充・手続き簡素化、航空ネットワークの拡大・強化、出入国手続きの簡素化等のインバウンド政策を展開してきた。
- これら政策と円安の効果により、とりわけ2011年の東日本大震災以降に外国人旅行者数は急速な増加を見せ、2011年から2019年までの10年足らずで約5倍に伸長している。しかしながら、2020年は新型コロナの影響で外国人旅行者数は412万人にまで減少した。
- 外国人旅行者の推移とおおよそ連動し、外国人旅行者旅行消費額も連増を続け、2019年には過去最高の約4.8兆円にまで成長を遂げたが、2020年は新型コロナ禍の影響を受けて、7,446億円（2020年は新型コロナの影響で暦年のデータが無いため、試算の数値）まで落ち込んだ。

外国人旅行者数の推移



出所：JNTO 訪日外客数の動向

観光消費額の推移

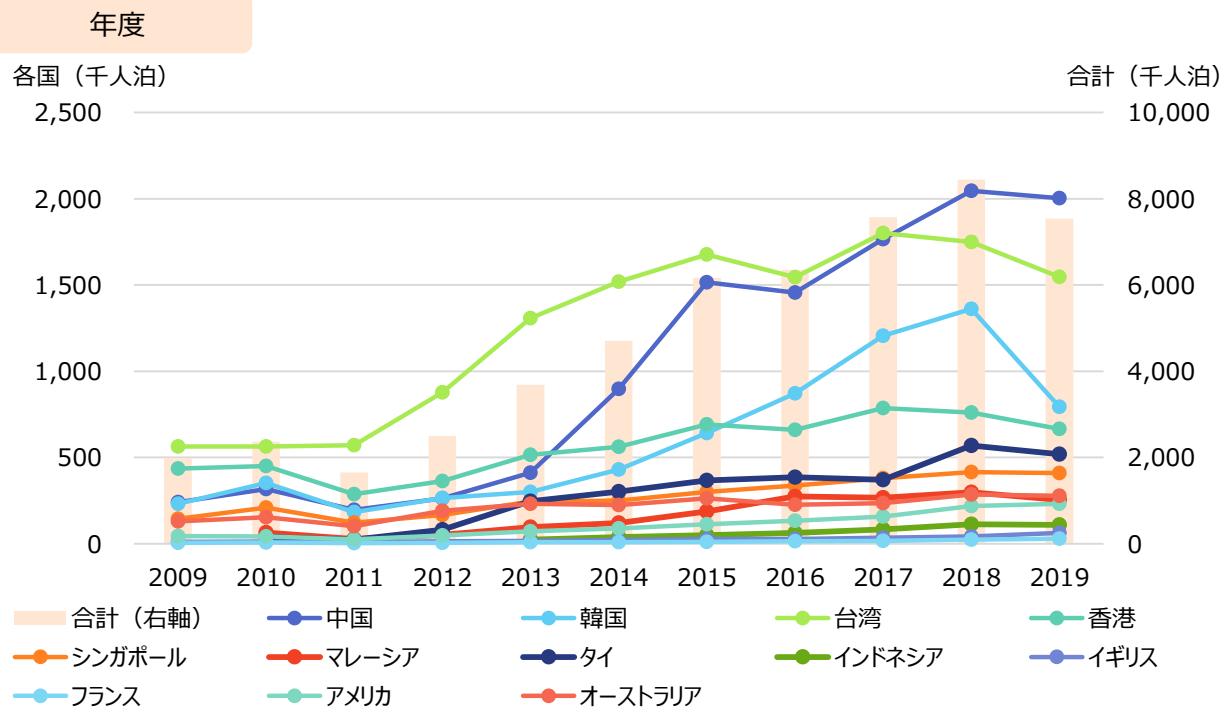


出所：観光庁「旅行・観光消費動向調査」「訪日外国人消費動向調査」

北海道の外国人旅行者延べ宿泊者数推移（年度・月次）

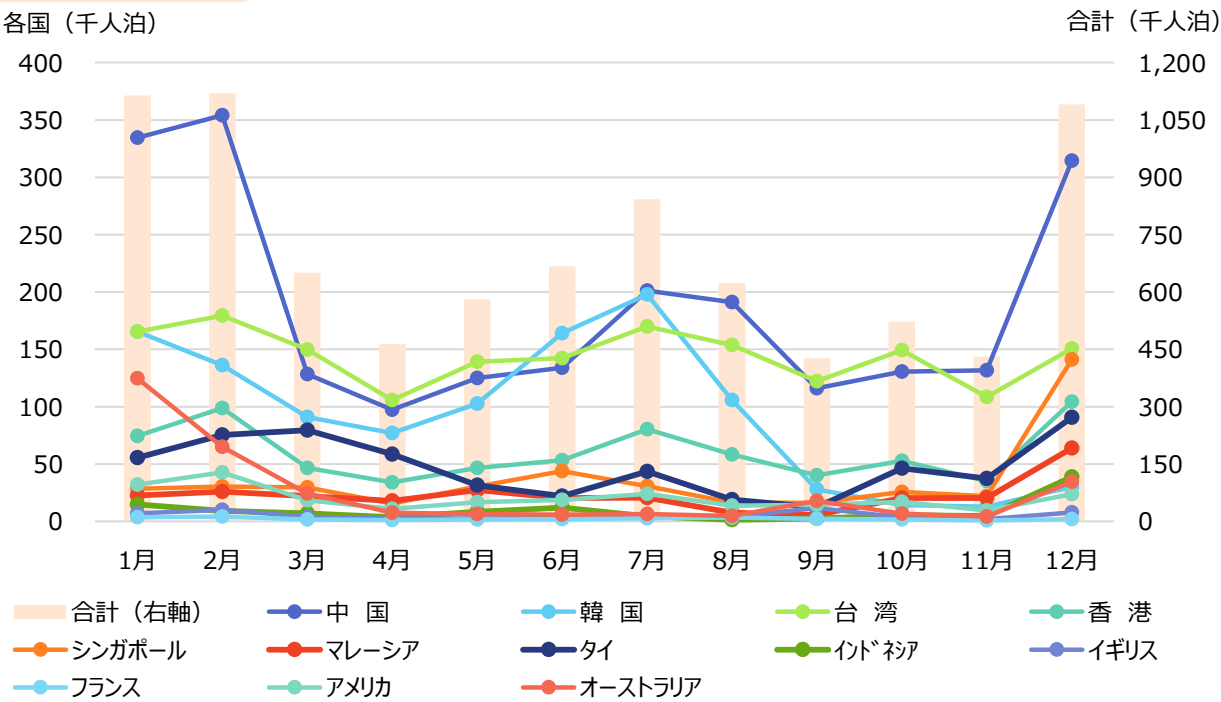
- 北海道の外国人旅行者延べ宿泊者数は近年増加基調にあったが、2019年度は新型コロナの影響等により減少に転じた。
- 月次推移では、冬と夏での入込数が多い。また、8月以降は韓国からの宿泊者が減少しているが、韓国での日本に対する不買運動が背景にあると考えられる。

北海道の外国人旅行者延べ宿泊者数推移



出所：北海道のオープンデータより当行作成

月次（2019年）



出所：北海道のオープンデータより当行作成

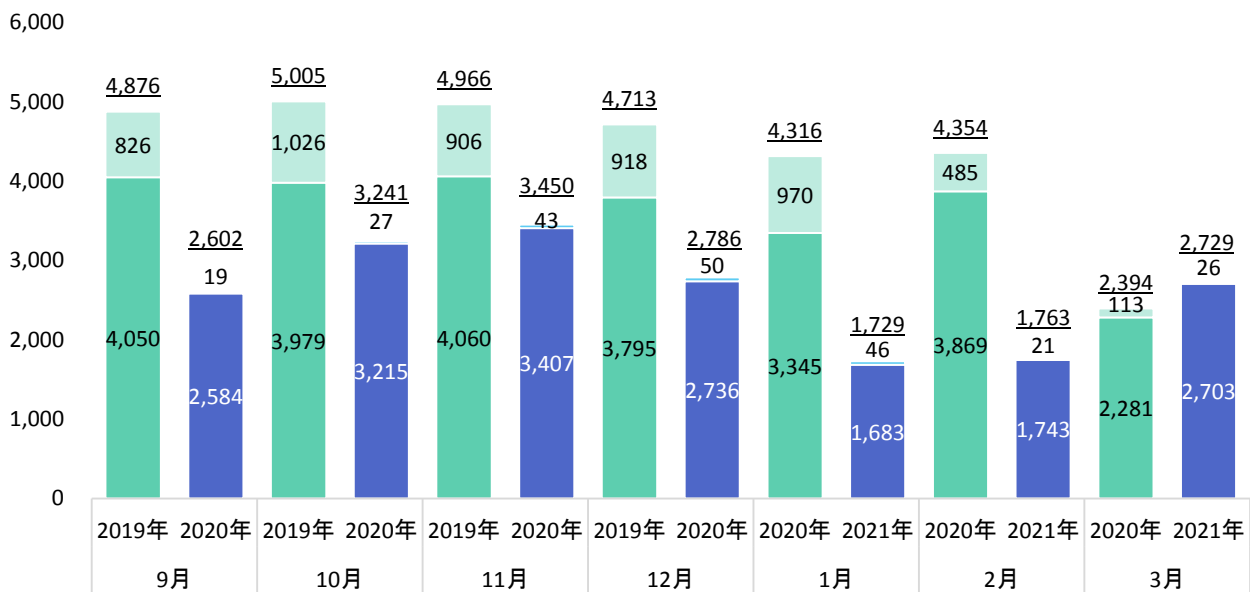
新型コロナ前後の延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数（月別、全国・北海道地方）

- 2019年と2020年の下半期の地域別延べ宿泊者数をみると、2019年は5千万人程度で推移していたが、2020年は、2千万人～3千万人台で推移し、2020年冬頃からの新型コロナ再拡大の影響を受け、2020年12月、2021年1月は1千万人台まで落ち込んだ。
- 北海道においてはGotoキャンペーンの影響を受けて2020年の下半期の延べ宿泊者数は増加傾向となっていたが、全国同様に2020年～2021年冬に減少した。新型コロナ以前の外国人延べ宿泊者数は月平均60万人程度で推移していたが、2021年3月時点では4,130人となっている。

新型コロナ前後の地域別延べ宿泊者数

全国

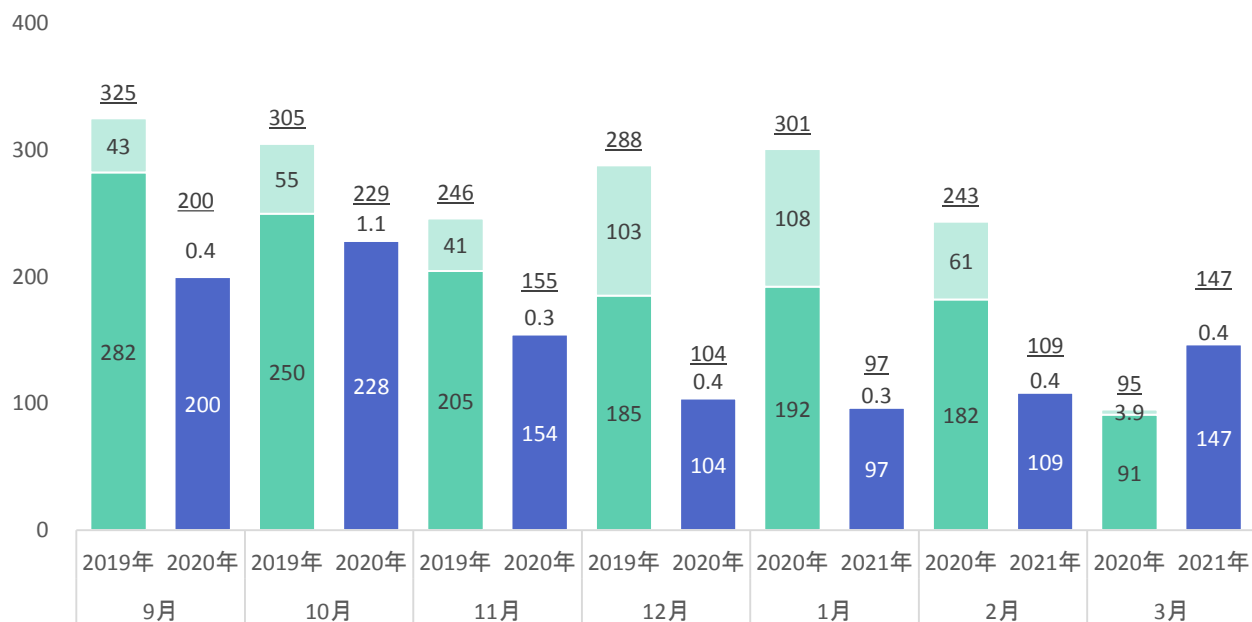
(万人泊)



※棒グラフ上部が外国人旅行者、下部が日本人

北海道

(万人泊)



※棒グラフ上部が外国人旅行者、下部が日本人

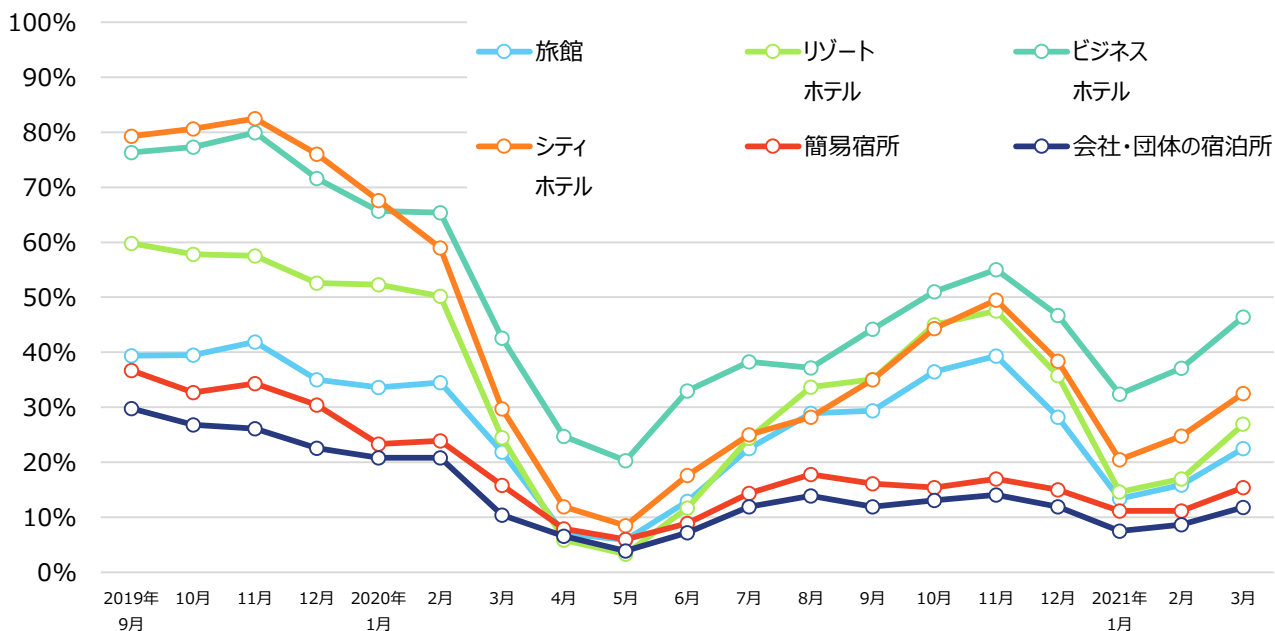
出所：観光庁「宿泊旅行統計」より当行作成

新型コロナ前後の都道府県別客室稼働率（月別、全国・北海道地方）

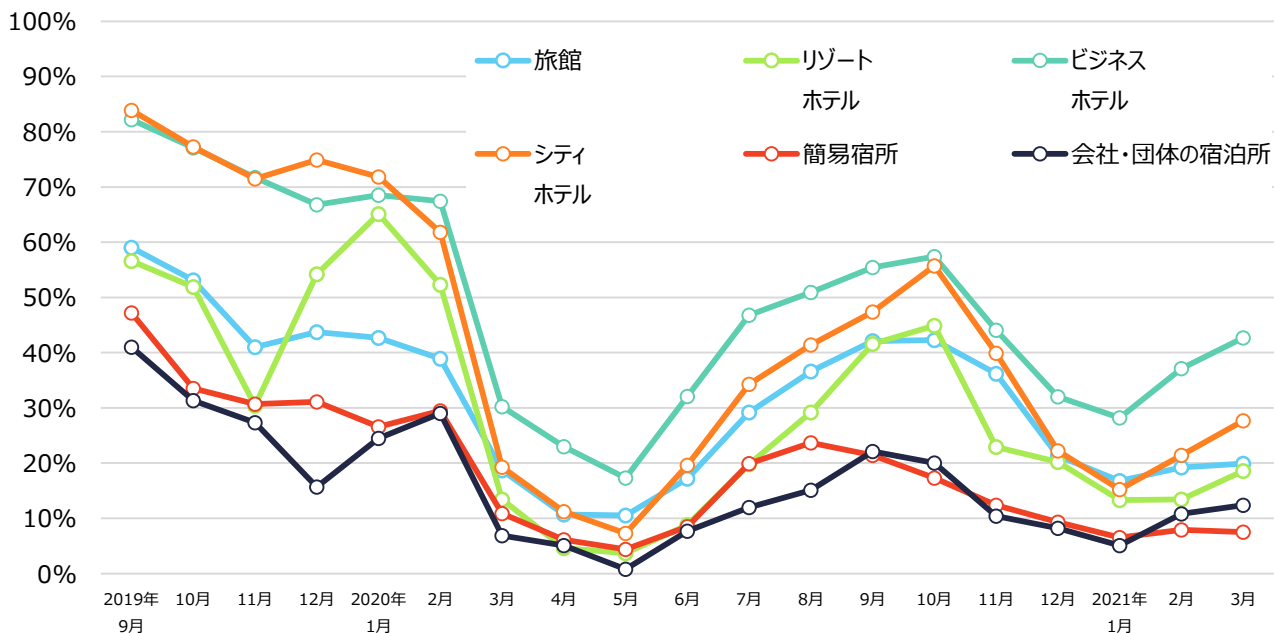
- 最も高い稼働率を誇るシティホテルでは、2019年9月の稼働率は79.3%程度あったが、2020年2月頃から新型コロナの影響を受け、2020年5月には8.5%にまで低下した。6月以降は、緊急事態宣言解除もあり上昇基調にあったが、再び新型コロナ拡大の影響を受けて2021年1月には20.5%にまで減少した。ビジネスホテルについては、2020年2月にシティホテルの稼働率を抜いており、新型コロナ禍においてテレワーク等の利用により、稼働率が高くなっていると推察される。
- 北海道においても、2020年2月以降に稼働率が急激に減少しており、シティホテルについては約7割の水準にあった稼働率が、1回目の緊急事態宣言（2020年4月）を受け1割程度（2020年5月）にまで減少した。その後上昇基調にあったが、12月に新型コロナ再拡大の影響を受けて、再び減少した。

新型コロナ前後の客室稼働率

全国



北海道



出所：観光庁「宿泊旅行統計」より当行作成

Ⅲ. 訪日外国人観光客の動向（ＤＢＪ外国人旅行者アンケート調査より）

調査概要

- 調査方法：インターネットによる調査
- 実施時期：2020年12月1日～2020年12月12日
- 調査地域：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12地域
 (注) 中国は北京及び上海在住者のみ（割合は北京50%：上海50%）
 (注) アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの4地域は2016年度調査から加わった。
- 調査対象者：20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者
 (注) 中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く
- 有効回答者数：上記各地域に居住する住民計6,139人
- 協力実査会社：楽天インサイト株式会社

◆有効回答者数 (人)

アジア全体											欧米豪全体				
項目	全体	韓国	中国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
男性	3,097	2,061	259	264	250	251	258	264	254	261	1,036	260	264	252	260
女性	3,034	2,061	271	272	249	248	255	251	255	260	973	243	241	253	236
その他	8	5	1	1	1	0	1	1	0	0	3	0	2	1	0
総計	6,139	4,127	531	537	500	499	514	516	509	521	2,012	503	507	506	496

◆訪日経験別回答者数 (人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
訪日経験あり	2,885	2,524	383	406	422	424	269	305	171	144	361	94	112	71	84
訪日経験者（1回）	1,126	930	119	218	101	67	114	132	91	88	196	33	64	41	58
訪日経験者（2回以上）	1,759	1,594	264	188	321	357	155	173	80	56	165	61	48	30	26
訪日経験なし	3,254	1,603	148	131	78	75	245	211	338	377	1,651	409	395	435	412
総計	6,139	4,127	531	537	500	499	514	516	509	521	2,012	503	507	506	496

- 収入者層の区分は、国・地域の回答者数を世帯年収順に三分の一ずつ区分し、上位層を高収入者層、中位層を中収入者層、低位層を低収入者層としている。

◆収入者層別回答者数 (人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
低収入者層	1,978	1,368	188	182	165	177	159	154	172	171	610	170	152	147	141
中収入者層	2,125	1,418	172	197	170	154	190	191	163	181	707	146	197	172	192
高収入者層	2,036	1,341	171	158	165	168	165	171	174	169	695	187	158	187	163

◆収入者層区分基準額 (千円)

	韓国	中国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス
低収入者層	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜
	4,500	3,328	3,056	5,608	4,070	1,388	1,318	800	6,532	5,038	3,747	3,259
中収入者層	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜
	7,000	6,656	4,775	8,412	8,140	2,776	2,636	1,600	10,886	10,496	6,745	5,865
高収入者層	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜	＜

本レポートにおける地域区分

地域	該当する都道府県
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県、山形県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
新潟	新潟県
北陸	富山県、石川県、福井県
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
関西	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄	沖縄県

地域	該当する国・地域
東アジア	韓国、香港、台湾、中国（上海・北京）
東南アジア	タイ、マレーシア、インドネシア、シンガポール
欧米豪	アメリカ、イギリス、オーストラリア、フランス

※「アジア」と表記される場合は、「東アジア」と「東南アジア」の合算であることを示す。

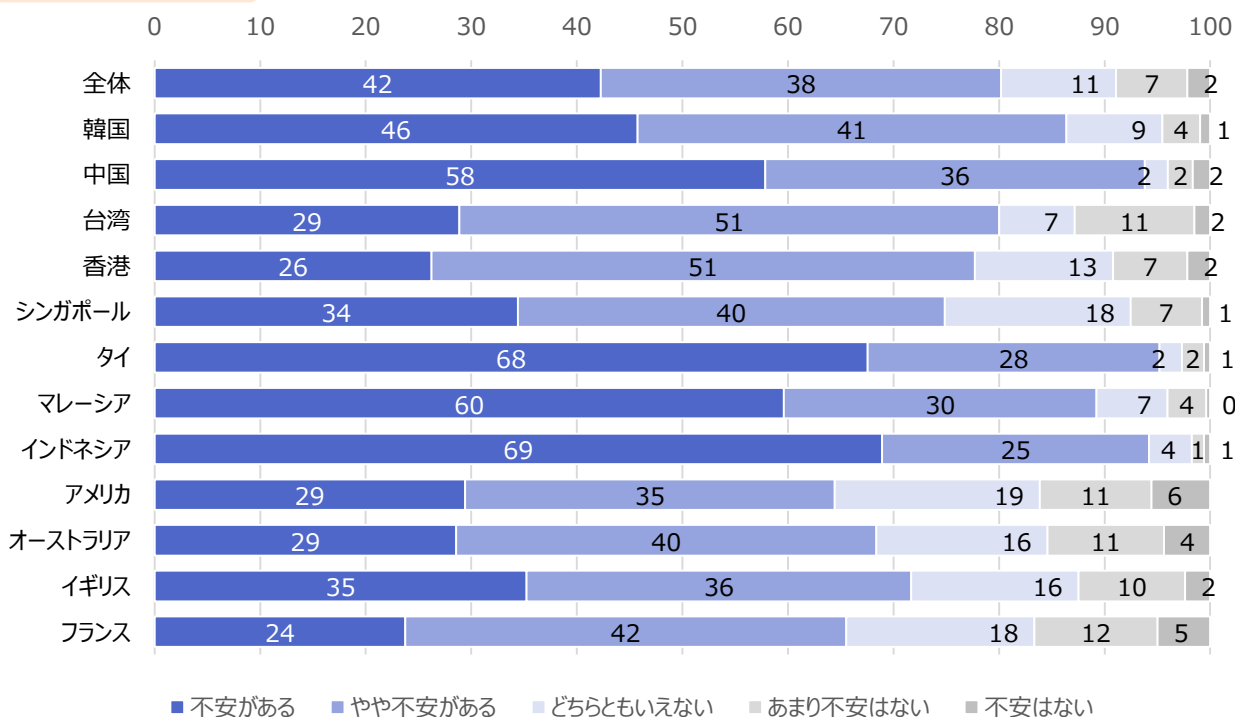
1. 新型コロナに対する不安と自国での活動

新型コロナの感染リスクに対する不安

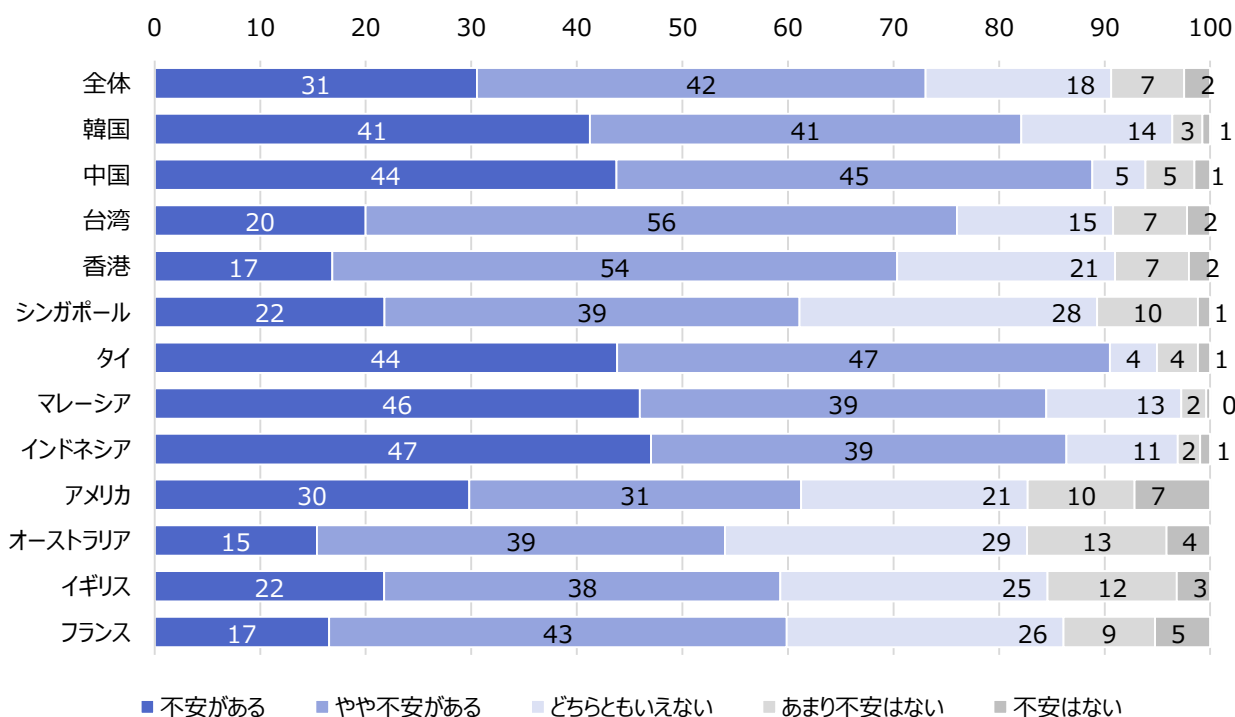
- 2020年6月調査に比べ、2020年12月調査では新型コロナの感染拡大に対する不安は下がる傾向にある。
- 各国・地域において、ワクチンの普及や新型コロナ禍での新しい生活様式への慣れにより、今後も感染への不安は下がる可能性がある。

新型コロナの感染リスクに対する不安

2020年6月調査



2020年12月調査



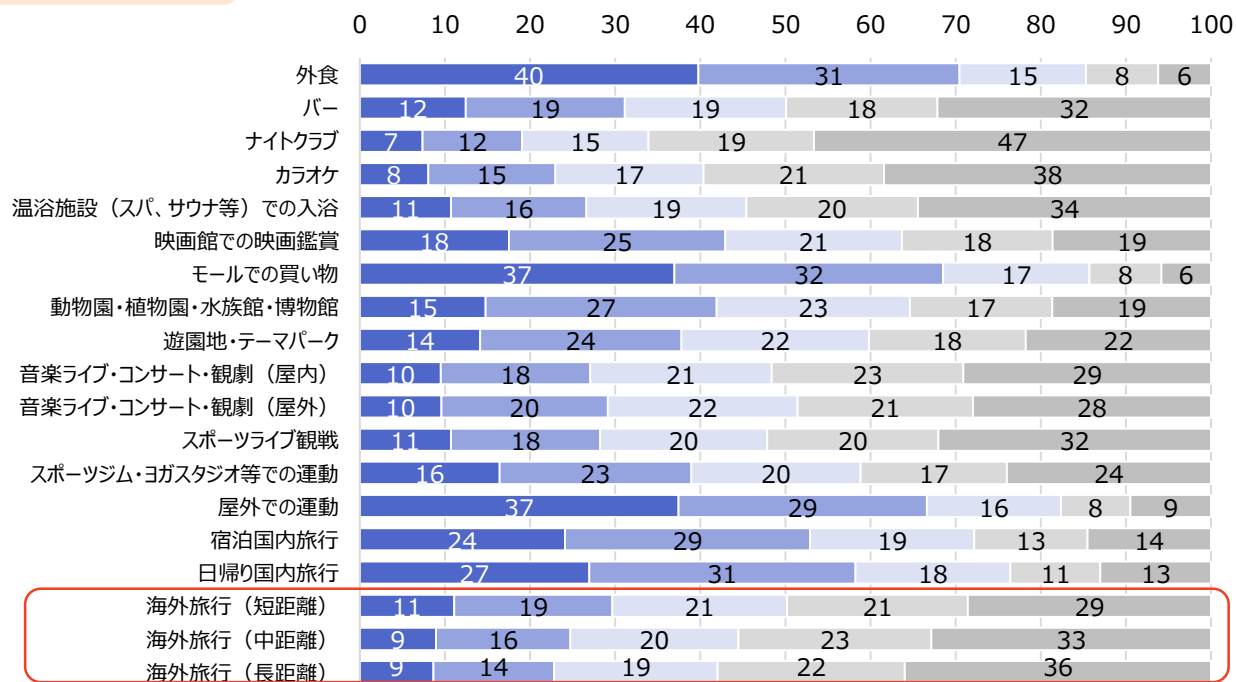
単数回答、%

今後6ヶ月で実施を予定・検討しているレジャー

- 6ヶ月以内に実施するであろうレジャーについては、全ての項目において2020年6月調査よりも2020年12月調査の方が実施意向が高い。
- 海外旅行では短距離になるほど実施意向が高い。海外旅行は近隣国から再開される可能性がある。

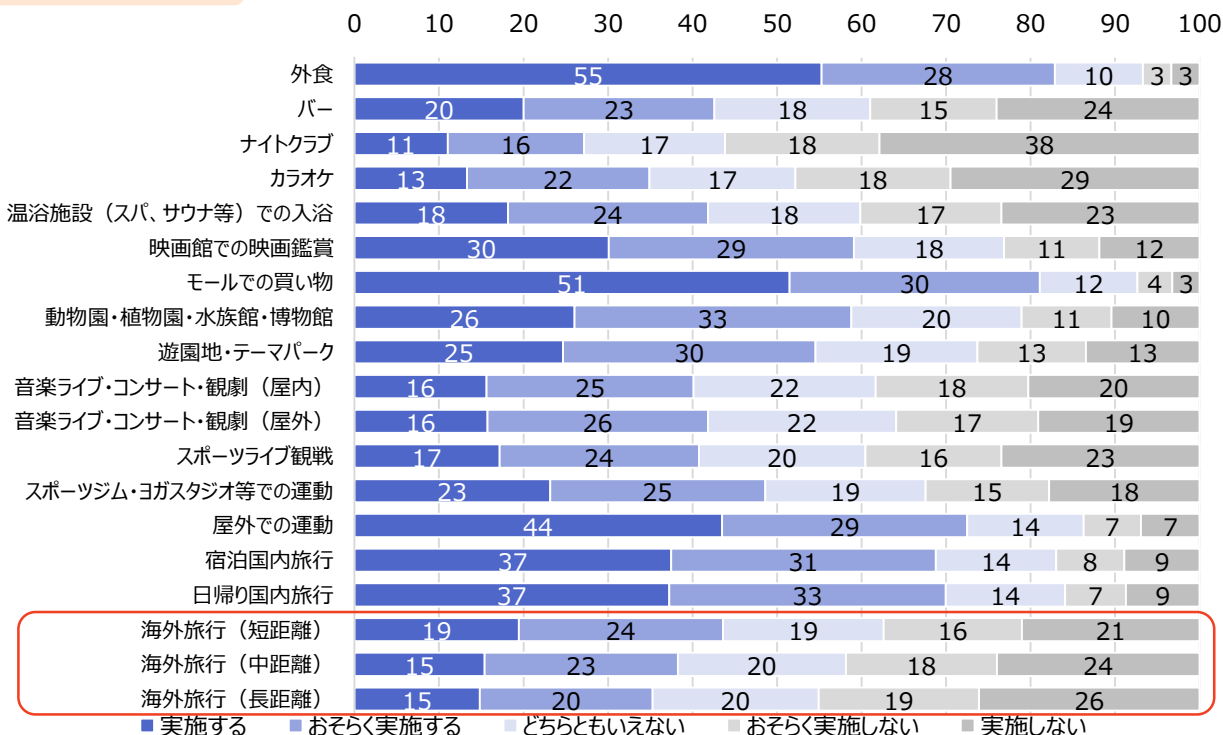
今後6ヶ月で実施を予定・検討しているレジャー

2020年6月調査



回答はそれぞれ一つ、%、（n=6,266）

2020年12月調査



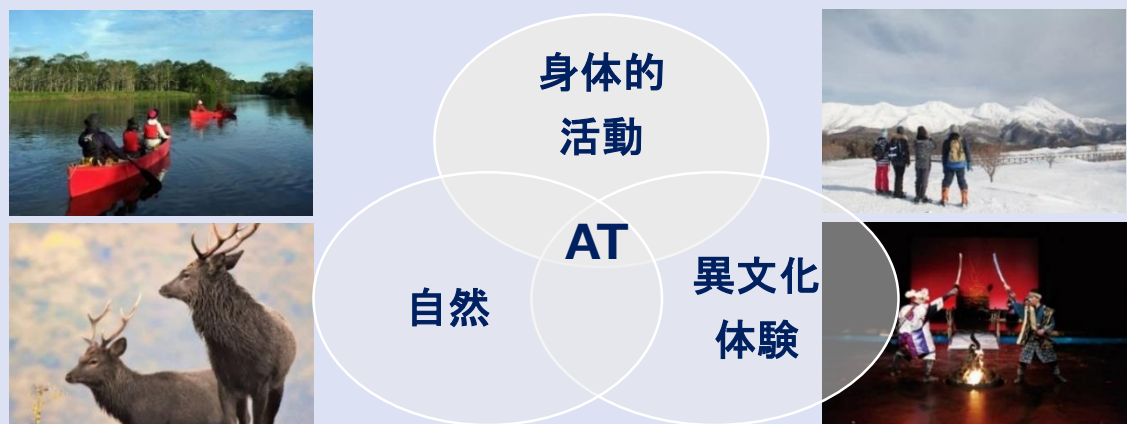
回答はそれぞれ一つ、%（n=6,139）

※海外旅行の距離区分は、飛行時間が短距離で5時間未満、中距離で5～9時間、長距離で9時間以上としている。

参考）アドベンチャートラベルとは

- 近年、アドベンチャートラベル（以下、「AT」）と言われる旅行形態が欧米豪を中心に注目を集めており、北海道をはじめとする日本の地域でも新たな旅行形態として期待されている。
- ATとは、「自然」、「異文化体験」、「アクティビティ」の3要素のうち、2つ以上を含む旅行形態であり、レジャーとしての観光の側面を核に持ち合わせている。
- ATの市場規模は下図の通り順調に拡大しており、また、AT旅行者の一回あたりの旅行平均支出額も他旅行形態に比べ大きいことが特徴である。
- また、アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021※が北海道にて2021年9月に開催予定（新型コロナ禍に伴いオンライン開催）であり、道内のATの機運は高まりつつある。
※欧米の富裕層特化型エージェント・ツアーオペレーターの経営層や関連メディアなど、世界各国のATのプロフェッショナルが参加する年に1度の大型イベント。

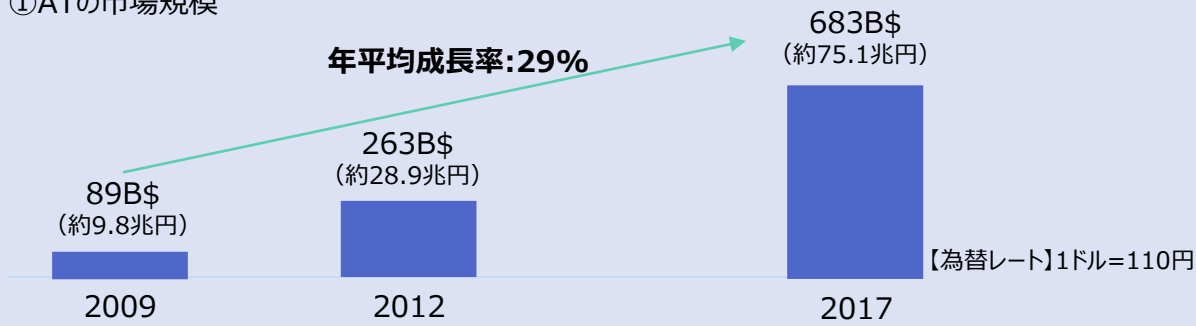
ATの概要



写真：（公社）北海道観光振興機構HP「HOKKAIDO TRAVEL NAVI」より

ATの経済効果

①ATの市場規模



出所：ATTA Adventure Tourism Development Index（2016）

②ATと他旅行形態の比較

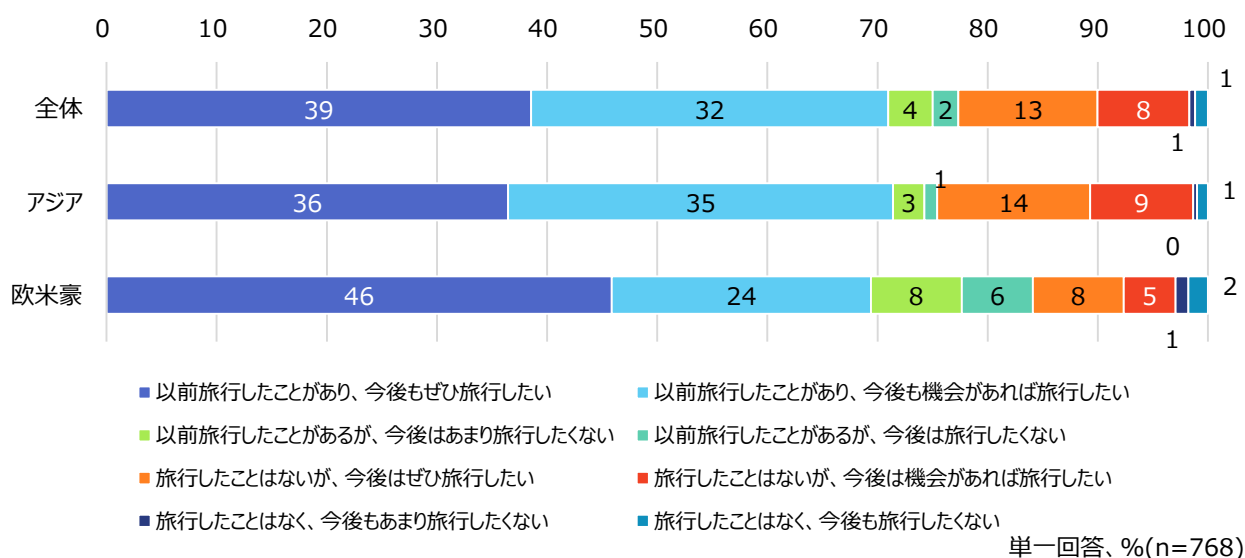
	AT旅行者	宿泊旅行者	クルーズ旅行者
1万\$の経済効果に必要な人数	 ×4	 ×9	 ×96
地域に還元される旅行消費額	65%	-	14%
10万ドルで生み出す雇用	 ×2.6	-	 ×1.5

出所：ATTA Adventure Travel Overview & Market Sizing

オンラインツアーで訪問した地域への旅行経験と今後の訪問意欲 (オンラインツアー参加者全員)

- オンラインツアー訪問地域への旅行経験のある人たちのおよそ7割が当該地域へ旅行意欲がある。
- オンラインツアー訪問地域への旅行経験のない人たちも当該地域へ「旅行したくない」「あまり旅行したくない」割合より「旅行したい」割合が高い。
- オンラインツアーを経験して実際に行ってみたいと意欲のある人が多いことから、今後もオンラインツアーにおいては充実した内容を増やし、実際に足を運んでもらう工夫が必要だといえる。

オンラインツアー参加経験者の旅行意欲



参考) オンラインツアー実施例：まいまい京都

- まいまい京都では、世界遺産である二条城をガイドする「オンラインツアー」を実施した。
- 普段は一般立ち入りが禁止されている非公開エリアの紹介や、著名歴史学者によるガイドなど、オンラインならではのコンテンツを用意し、顧客獲得に繋げた。
- 北海道でも道外を対象としたオンラインツアーを企画・運営することで、北海道の観光施設や大自然での疑似体験をすることが可能となる。

二条城オンラインツアーの概要

概要

- ・ Zoom等を利用して、自宅にいながら二条城の見学を体験可能
- ・ 参加者はチャット機能を使って現場へ質問や感想を投げかけることができ、双方のコミュニケーションをリアルタイムで実施



ポイント

- ・ 一般立ち入り禁止の非公開エリアの見学が可能
- ・ 著名な歴史学者によるガイド



写真：オンラインツアーの様子。まいまい京都より拝領

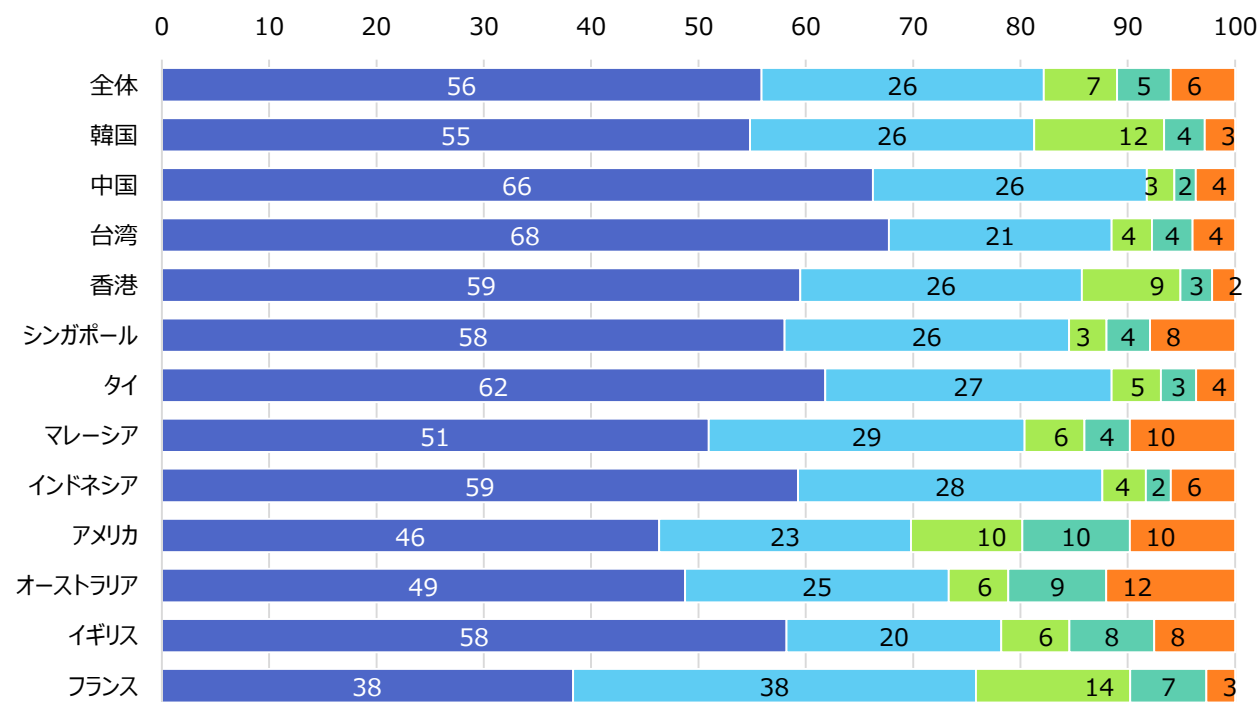
2. 次の海外旅行の意向

新型コロナ収束後の海外旅行への意向

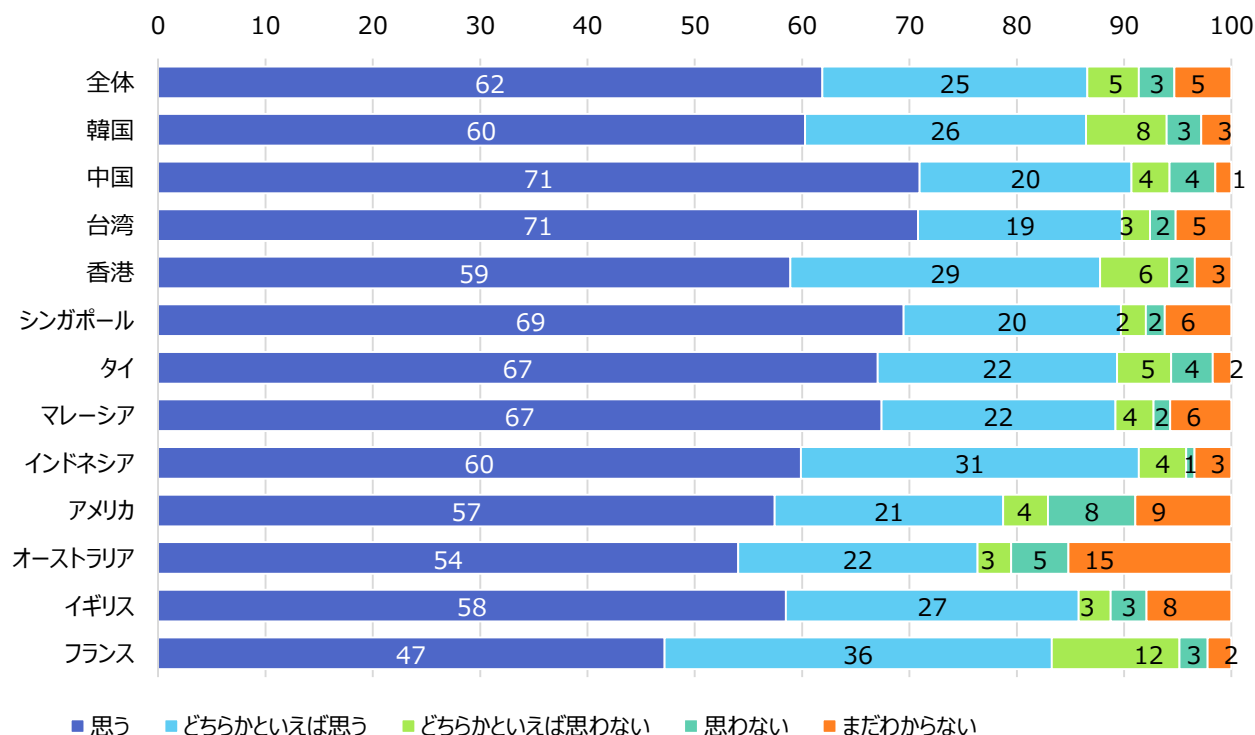
- 新型コロナ収束後の海外旅行への意向は、2020年6月調査よりも2020年12月調査の方が意向が高くなっている。
- 2020年12月調査ではいずれの国においても「海外旅行をしたいと思う/どちらかといえば思う」の回答が7割を超えている。

2020年6月調査

新型コロナ収束後に海外旅行をしたいか



2020年12月調査



■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ どちらかといえば思わない ■ 思わない ■ まだわからない

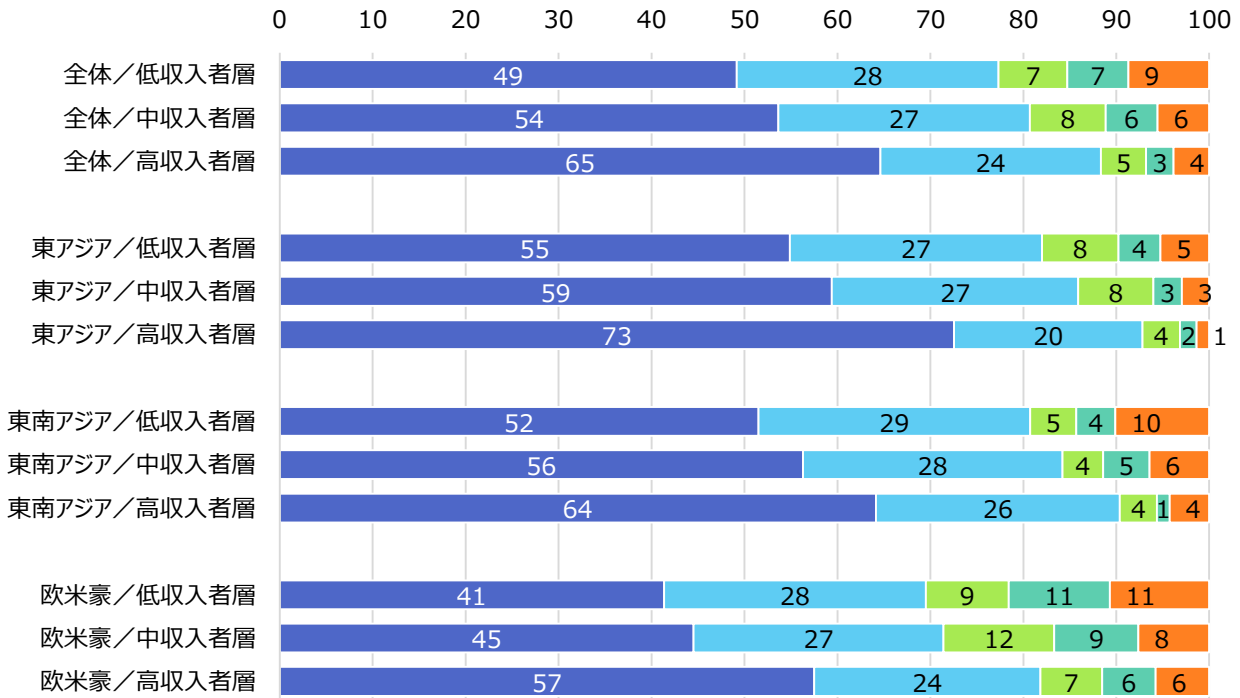
単一回答、%

新型コロナ収束後の海外旅行への意向

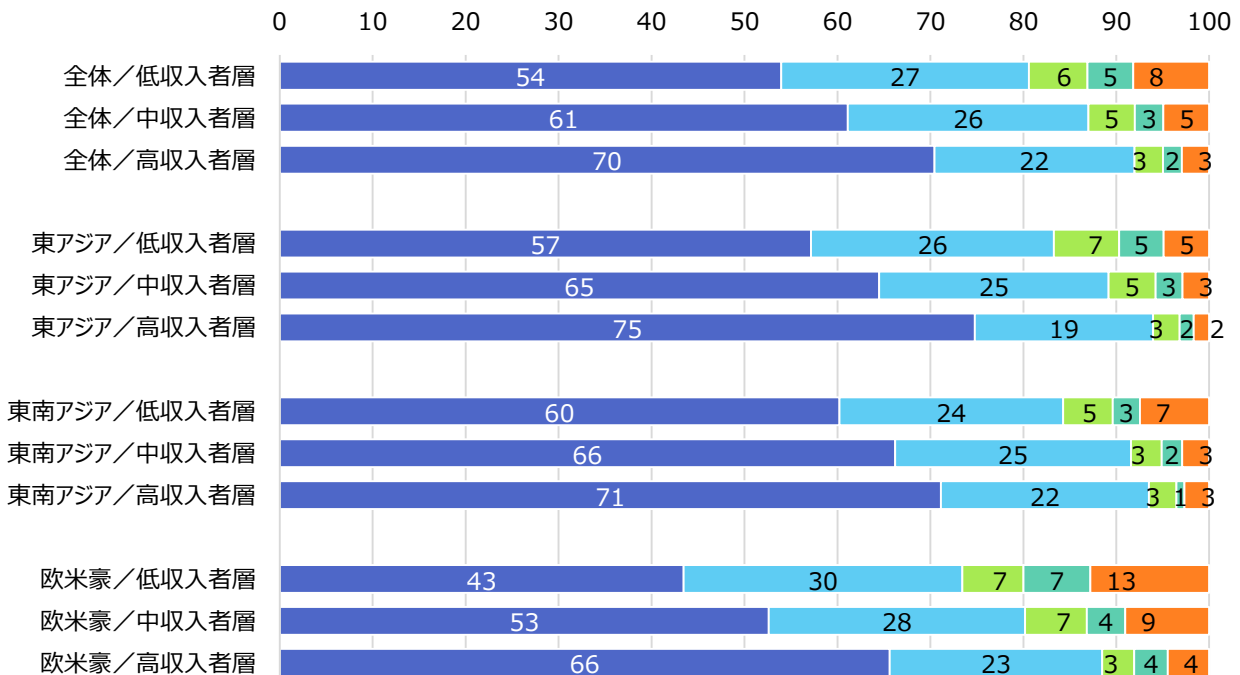
- いずれの地域・収入者層においても、2020年6月調査より2020年12月調査の方が海外旅行への意向が高い。
- 2020年6月調査と2020年12月調査のどちらも収入者層が高くなるほど海外旅行に意欲的である。

新型コロナ収束後に海外旅行をしたいか（地域・収入者層別）

2020年6月調査



2020年12月調査



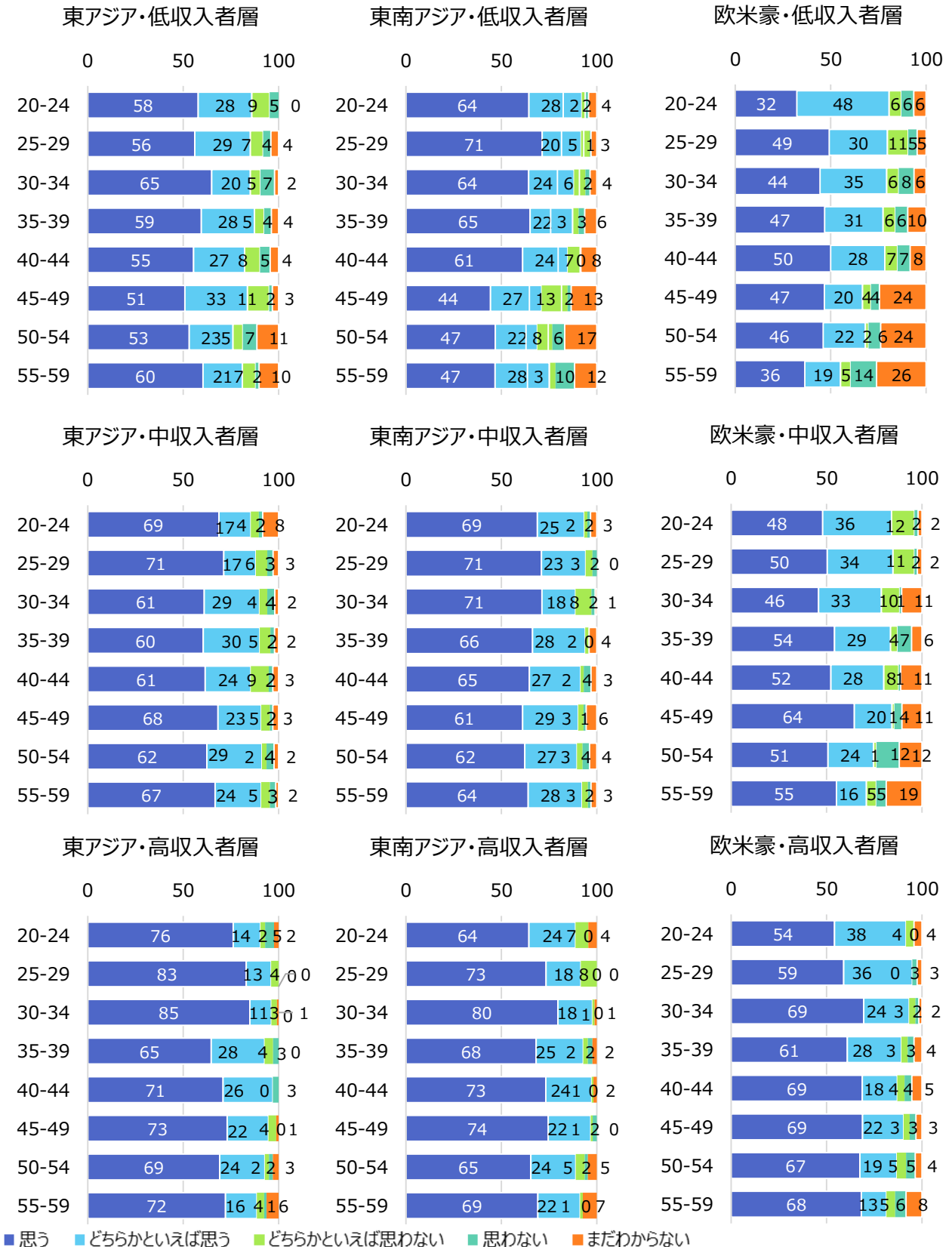
■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ どちらかといえば思わない ■ 思わない ■ まだわからない

単一回答、%

新型コロナ収束後の海外旅行への意向

- 低収入者層と比較して、高収入者層では年齢層の上昇に伴う海外旅行への意向の低下が小さい。
- 東南アジア低収入者層、欧米豪の低・中収入者層では、中高年齢者層で海外旅行意向が低くなっている。

新型コロナ収束後に海外旅行をしたいか（年齢・地域・収入者層別）



単一回答、縦軸（歳）、横軸（%）、欧米豪高収入20-24歳は参考値（n=24）

海外旅行検討再開タイミング

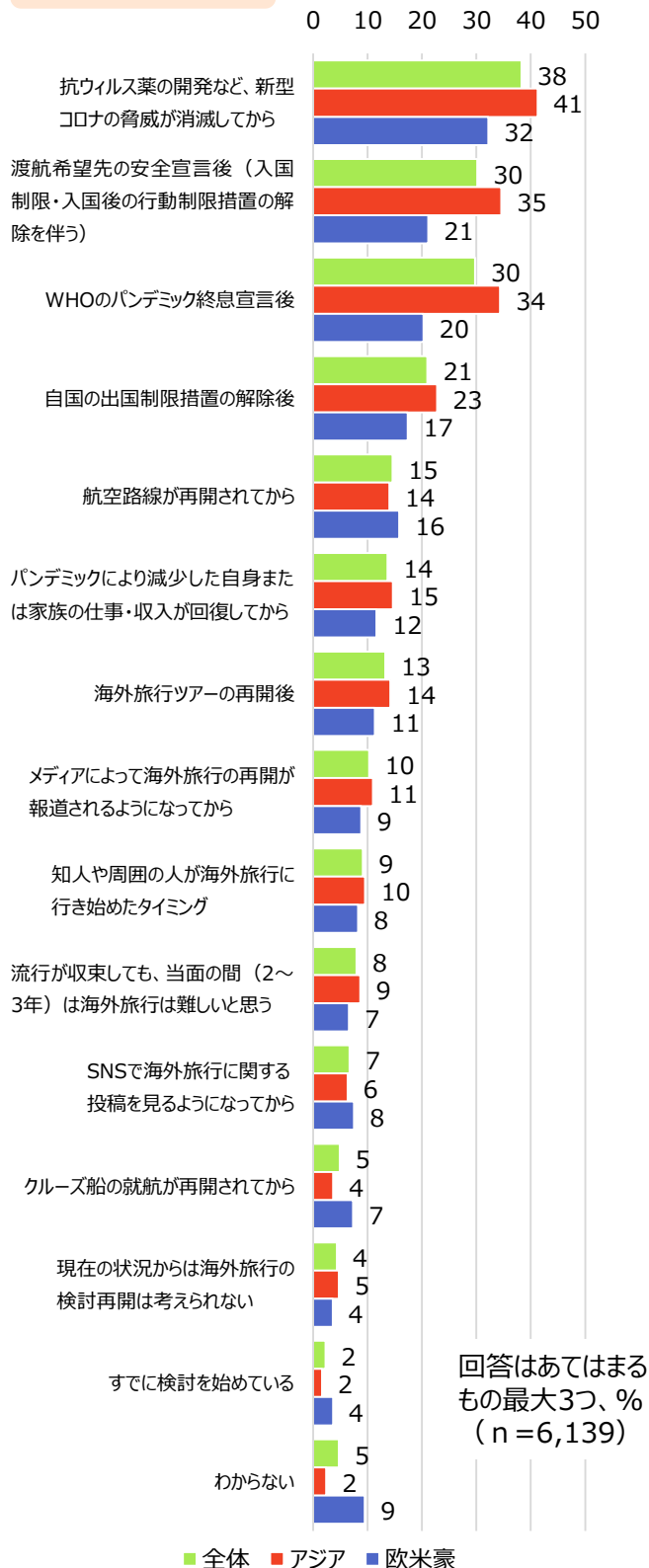
- 海外旅行の検討を再開するタイミングは、2020年6月調査・2020年12月調査のどちらにおいても「抗ウイルス薬の開発」「渡航希望先の安全宣言後」「WHOのパンデミック終息宣言後」が上位を占めている。
- 治療方法の確立や公的な宣言をもって、海外旅行の検討が再開されるものと考えられる。

海外旅行検討再開タイミング

2020年6月調査

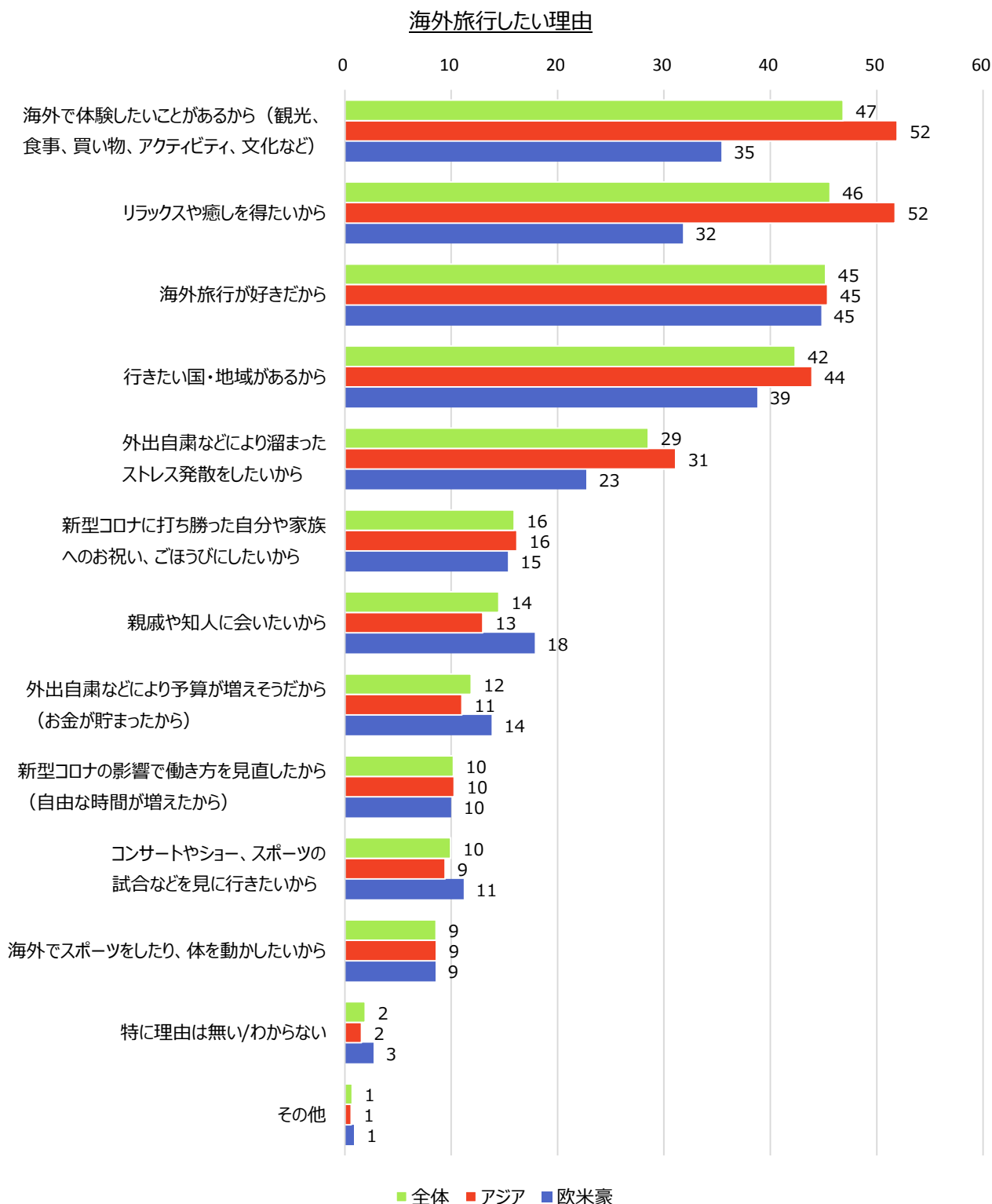


2020年12月調査



海外旅行をしたい理由

- 海外旅行したい理由は「海外で体験したいことがあるから」「リラックスや癒やしを得たいから」「海外旅行が好きだから」「行きたい国・地域があるから」の順に選択率が高い。
- アジア／欧米豪別で見ると、アジアでは「海外で体験したいことがある」「リラックスや癒やしを得たい」「外出自粛などにより溜まったストレスを発散したい」が欧米豪よりも選択率が高い。欧米豪では「親戚や知人に会いたいから」「外出自粛などにより、予算が増えそうだから」がアジアよりも選択率が高い。



回答はあてはまるものすべて、%
(n=5,315)

海外旅行をしたい理由（収入者層別）

- 海外旅行したい理由を収入者層別にみると、どの収入者層においても、「海外で体験したいことがあるから」「リラックスや癒やしを得たいから」「海外旅行が好きだから」との回答が上位にあり、また収入者層が上がるにつれてそれらの回答数は増加傾向にある。

海外旅行をしたい理由（収入者層別）

	全 体	全体			アジア									韓国			中国			台湾			香港			シンガポール			タイ		
		低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層						
サンプル数→	5,315	1,594	1,849	1,872	1,146	1,282	1,257	156	147	156	150	182	155	137	158	154	150	131	157	135	172	154	125	174	162						
海外で体験したいことがあるから（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化など）	47	45	47	48	49	52	54	43	42	50	53	60	37	51	59	61	52	52	62	47	51	60	43	54	53						
リラックスや癒しを得たいから	46	43	47	47	48	53	54	62	61	63	34	42	32	55	61	66	50	57	57	48	49	56	46	55	60						
海外旅行が好きだから	45	38	46	50	37	46	52	31	39	50	40	51	45	40	58	71	42	53	62	41	55	64	26	30	36						
行きたい国・地域があるから	42	41	42	44	43	43	46	46	42	46	33	44	31	50	53	67	39	47	50	45	47	49	34	32	33						
外出自粛などにより溜まったストレス発散をしたいから	29	28	29	29	30	31	32	27	24	29	31	28	30	23	21	25	27	39	32	30	31	38	25	31	25						
新型コロナに打ち勝った自分や家族へのお祝い、ごほうびにしたいから	16	15	16	16	16	17	16	13	14	10	21	16	19	7	8	10	19	17	13	4	10	14	26	27	23						
親戚や知人に会いたいから	14	14	14	15	12	13	14	9	15	11	10	7	16	9	9	9	15	15	12	19	17	19	10	16	13						
外出自粛などにより、予算が増えそうだから（お金が貯まったから）	12	11	11	13	10	10	13	5	6	8	12	11	25	3	8	6	11	8	10	5	10	14	21	13	14						
新型コロナの影響で、働き方を見直したから（自由な時間が増えたから）	10	10	10	11	11	10	10	7	6	7	15	10	19	4	8	6	14	11	11	8	8	8	22	18	12						
コンサートやショー、スポーツの試合などを見に行きたいから	10	10	10	10	9	10	9	10	3	6	9	15	17	7	9	8	8	8	6	8	12	12	11	10	8						
海外でスポーツをしたり、体を動かしたいから	9	8	8	9	8	8	9	6	5	8	12	12	19	7	8	8	11	8	10	4	6	4	15	9	12						
特に理由は無い/わからない	2	3	2	1	3	1	1	4	3	2	1	1	0	4	0	0	2	1	1	4	2	1	2	1	1						
その他	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4	1	1	0	1	0						

							欧米豪																	
	マレーシア			インドネシア						アメリカ			オーストラリア			イギリス			フランス					
	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層			
サンプル数→	145	150	159	148	168	160	448	567	615	112	120	164	96	150	141	122	143	169	118	154	141			
海外で体験したいことがあるから（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化	58	54	58	45	46	49	33	36	37	36	38	39	36	35	32	31	41	40	30	31	35			
リラックスや癒しを得たいから	54	59	57	32	40	44	31	33	31	22	25	26	32	38	30	36	32	34	32	36	35			
海外旅行が好きだから	50	60	62	24	26	31	42	46	46	34	44	31	44	42	43	43	44	56	47	53	54			
行きたい国・地域があるから	54	48	52	40	32	44	35	39	41	36	42	34	27	33	40	38	38	44	40	44	46			
外出自粛などにより溜まったストレス発散をしたいから	36	40	34	42	35	43	21	24	22	17	21	21	20	25	18	21	22	25	25	28	24			
新型コロナに打ち勝った自分や家族への お祝い、ごほうびにしたいから	10	14	10	28	26	29	13	16	17	19	18	20	14	17	15	9	17	15	11	12	16			
親戚や知人に会いたいから	12	13	14	16	11	14	18	18	17	21	26	20	16	17	20	12	12	15	24	20	15			
外出自粛などにより、予算が増えそうだから （お金が貯まったから）	10	12	13	16	12	11	13	14	14	14	14	14	9	13	19	15	16	8	13	14	16			
新型コロナの影響で、働き方を見直したから （自由な時間が増えたから）	3	10	9	11	8	12	7	10	12	11	10	10	6	12	15	7	7	12	5	12	10			
コンサートやショー、スポーツの試合など を見に行きたいから	8	9	6	12	10	11	12	10	12	16	11	15	5	11	13	11	9	9	13	10	10			
海外でスポーツをしたり、体を動かしたい から	1	10	6	9	7	8	7	9	9	10	8	15	6	10	9	4	8	7	8	10	6			
特に理由は無い/わからない	1	0	2	3	2	1	3	3	2	2	2	3	7	3	1	1	2	4	3	4	1			
その他	0	1	0	2	1	2	1	1	1	1	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0			

回答はあてはまるものすべて、%
 ※40%以上～50%未満を薄オレンジ色で、
 50%以上をピンク色で塗りつぶしている

海外旅行をしたい理由（年齢・収入者層別）

- どの年齢層においても、「海外旅行が好きだから」「行きたい国・地域があるから」「海外で体験したいことがあるから」との回答が多い。
- なお、アジアでは「体験」や「リラックスや癒やし」を求める回答者が多く、年代・収入者層が上がるにつれてその割合は多くなっている。

海外旅行をしたい理由（年齢・収入者層別）

	20代	全体			アジア			欧米豪			30代	全体			アジア			欧米豪		
		低収入者層	中収入者層	高収入者層	低収入者層	中収入者層	高収入者層	低収入者層	中収入者層	高収入者層		低収入者層	中収入者層	高収入者層	低収入者層	中収入者層	高収入者層	低収入者層	中収入者層	高収入者層
サンプル数→	1,327	586	416	325	409	268	229	177	148	96	1,393	376	525	492	278	360	330	98	165	162
海外で体験したいことがあるから（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化など）	45	43	48	47	48	57	51	31	30	38	46	46	48	45	50	52	52	33	39	30
リラックスや癒しを得たいから	45	41	49	47	48	58	52	24	32	34	45	47	44	44	53	51	52	32	30	29
海外旅行が好きだから	42	34	46	50	36	53	54	31	34	39	42	38	44	45	36	44	51	42	44	33
行きたい国・地域があるから	43	41	43	45	47	47	48	29	37	36	40	41	39	41	44	42	46	33	32	30
外出自粛などにより溜まったストレス発散をしたいから	32	30	31	35	35	35	40	20	24	23	30	27	32	30	29	36	34	19	22	23
新型コロナに打ち勝った自分や家族への祝い、ごほうびにしたいから	19	17	19	24	17	21	22	18	16	27	18	18	19	16	21	20	16	11	18	17
親戚や知人に会いたいから	15	13	15	17	12	13	17	17	20	18	14	12	12	17	10	10	15	17	16	21
外出自粛などにより、予算が増えそうだから（お金が貯まったから）	15	14	15	18	13	11	20	15	22	15	14	12	14	15	11	14	14	15	15	16
新型コロナの影響で、働き方を見直したから（自由な時間が増えたから）	14	15	12	14	15	10	14	13	15	15	13	9	13	17	11	13	17	3	12	19
コンサートやショー、スポーツの試合などを見に行きたいから	13	14	12	14	13	13	13	16	11	17	13	12	14	13	12	14	13	13	16	13
海外でスポーツをしたり、体を動かしたいから	11	10	9	14	10	9	15	11	10	13	12	10	12	13	11	11	13	6	14	13
特に理由は無い/わからない	1	2	1	1	1	0	1	3	3	1	1	2	1	1	2	0	1	1	1	2
その他	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1

	40代	全体			アジア			欧米豪			50代	全体			アジア			欧米豪		
		低収入者層	中収入者層	高収入者層	低収入者層	中収入者層	高収入者層	低収入者層	中収入者層	高収入者層		低収入者層	中収入者層	高収入者層	低収入者層	中収入者層	高収入者層	低収入者層	中収入者層	高収入者層
サンプル数→	1,341	318	462	561	241	326	363	77	136	198	1,254	314	446	494	218	328	335	96	118	159
海外で体験したいことがあるから（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化など）	45	45	45	46	49	49	55	32	35	29	51	47	49	55	50	52	56	39	41	52
リラックスや癒しを得たいから	46	42	48	47	46	54	55	31	34	33	46	43	47	49	44	50	58	42	38	29
海外旅行が好きだから	46	41	47	49	38	45	52	49	53	44	51	44	48	57	38	45	53	57	57	65
行きたい国・地域があるから	41	39	42	41	39	43	43	40	39	37	46	41	43	52	38	40	48	47	52	60
外出自粛などにより溜まったストレス発散をしたいから	28	28	28	28	28	28	30	26	28	23	25	23	25	25	25	26	27	20	24	21
新型コロナに打ち勝った自分や家族への祝い、ごほうびにしたいから	15	14	16	16	15	16	15	12	15	18	11	9	11	12	10	10	14	7	14	8
親戚や知人に会いたいから	13	12	14	13	9	11	10	19	20	17	16	20	17	13	20	17	13	20	17	13
外出自粛などにより、予算が増えそうだから（お金が貯まったから）	11	10	9	13	11	10	12	8	7	17	7	5	8	8	3	5	8	10	14	8
新型コロナの影響で、働き方を見直したから（自由な時間が増えたから）	8	8	10	8	9	10	7	4	10	10	5	4	5	5	3	6	5	4	3	6
コンサートやショー、スポーツの試合などを見に行きたいから	7	4	6	9	5	6	7	4	5	14	6	6	7	5	5	6	6	7	8	4
海外でスポーツをしたり、体を動かしたいから	6	6	6	8	6	6	7	5	6	10	5	4	6	4	5	7	5	2	3	3
特に理由は無い/わからない	3	4	2	2	4	2	1	6	3	3	3	4	3	2	5	2	1	2	4	3
その他	1	2	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	0	1	2	2	1

回答はあてはまるものすべて、%
 ※40%以上～50%未満を薄オレンジ色で、
 50%以上をピンク色で塗りつぶしている

海外旅行をしたくない理由

- 新型コロナ収束後においても海外旅行を控える理由は「旅行先での衛生面の配慮、清潔・安全への不安」「感染予防のための自粛」「仕事・収入が減少しており節約したいから」の順に多い。特にアジアでは仕事・収入の減少による理由や、心理的に海外旅行をする気分になれないといった理由で旅行を控えたいとの回答が多かった。

新型コロナ収束後においても海外旅行をしたくない理由

	全体	アジア										欧米豪			
			韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア		アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス
サンプル数→	497	288	57	42	25	44	46	21	26	27	209	62	43	32	72
旅行先での衛生面での配慮や、清潔・安全に不安があるから	30	38	40	45	32	36	57	24	35	11	18	19	16	19	18
感染予防のため自粛したいから	29	36	33	45	36	41	17	38	54	33	18	15	14	13	26
仕事・収入が減少しており、節約したいから	21	25	11	21	28	25	30	29	35	37	15	16	14	16	14
心理的に、海外旅行をする気分になれないから	17	18	7	19	16	27	24	10	38	0	16	13	9	25	19
海外旅行への興味が薄れたから	16	13	7	19	8	16	13	19	8	19	21	15	28	22	22
海外で体験したいことが特でないから（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化体験など）	15	16	18	19	8	14	20	24	12	15	14	13	9	9	19
海外旅行に行くことで周囲から心配されたり、非難される可能性があるから	14	17	19	21	12	9	20	19	15	22	9	10	5	9	10
外出自粛により、家にいることに慣れたから	13	13	18	12	8	9	9	14	15	19	14	13	12	19	15
特に行きたい国・地域が特でないから	13	12	5	17	12	14	11	29	4	11	15	15	16	19	13
身近（自分や親族、友人）に新型コロナの被害があったから	8	8	14	2	4	9	13	5	12	0	9	8	7	19	6
特に理由はない／わからない	9	7	7	10	16	9	2	5	4	7	12	16	23	3	7
その他	2	1	0	0	0	2	4	0	0	4	2	3	2	3	1

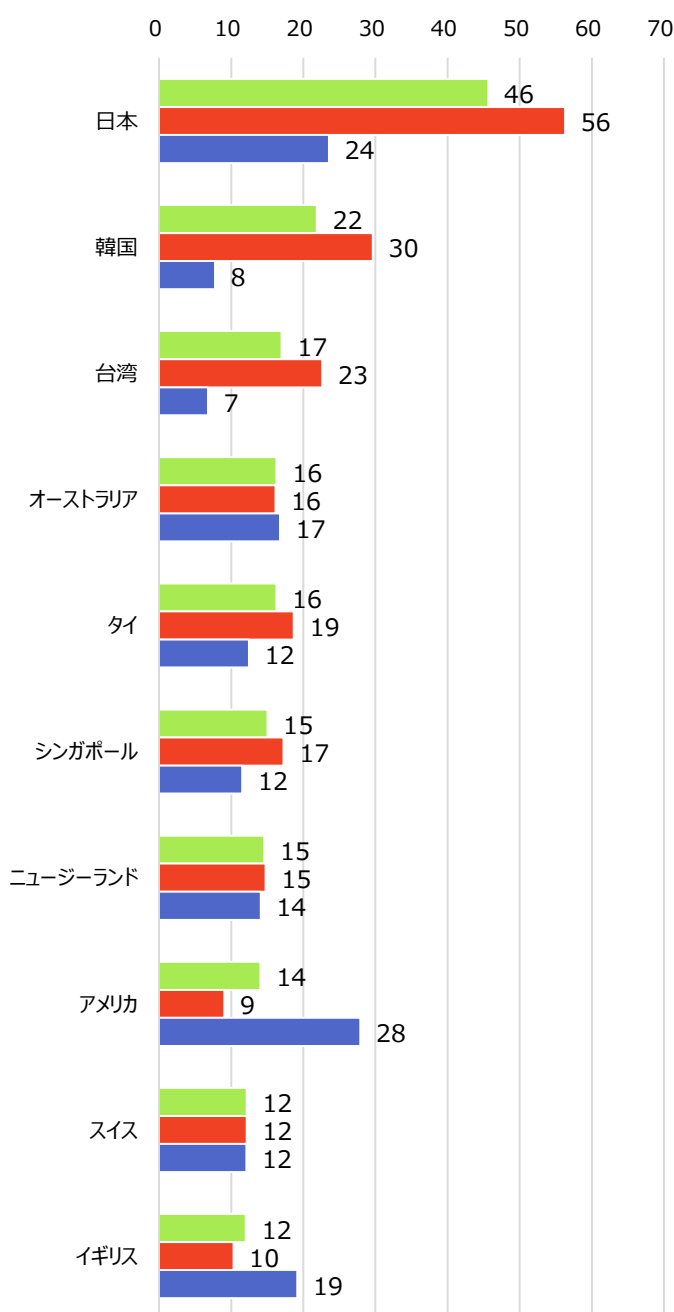
回答はあてはまるものすべて、%
 ※25%以上40%未満を薄オレンジ色で、
 40%以上をピンク色で塗りつぶしている
 ※台湾、シンガポール、マレーシア、インドネシアは
 サンプル数が少ないため、参考値

次に海外旅行をしたい国・地域

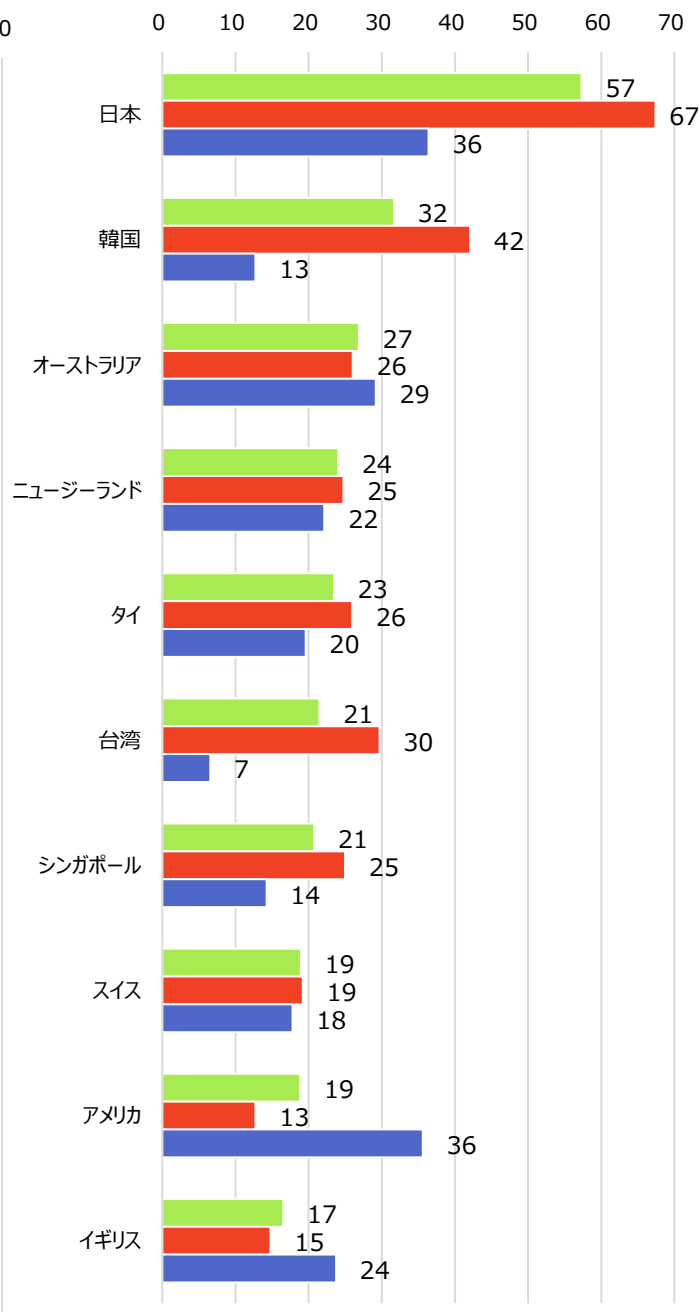
- 海外旅行したい国・地域については、日本の人気は依然として高く、アジア・欧米豪ともに1位にランクインしている。
- 2020年6月調査時と比べてもアジアは引き続き1位を維持し、その割合は上昇(2020年6月調査56.3%→2020年12月調査67.4%)、欧米豪では順位も上昇した(2020年6月調査2位23.5%→2020年12月調査1位36.4%)。

海外旅行したい国・地域（トップ10）

2020年6月(n=5,662)



2020年12月(n=5,692)



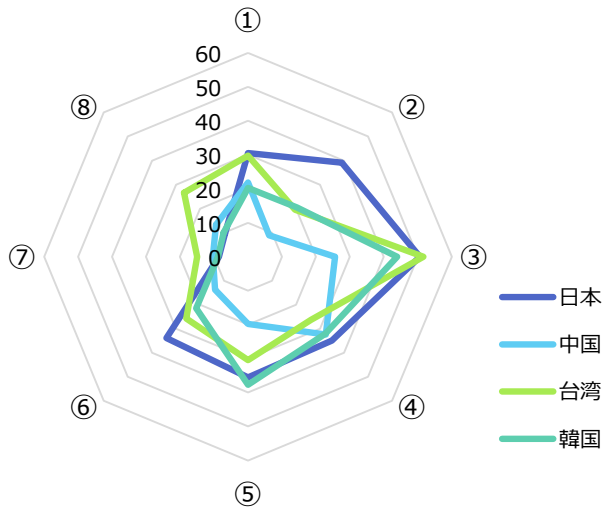
■ 全体 ■ アジア ■ 欧米豪

回答はあてはまるものすべて、%

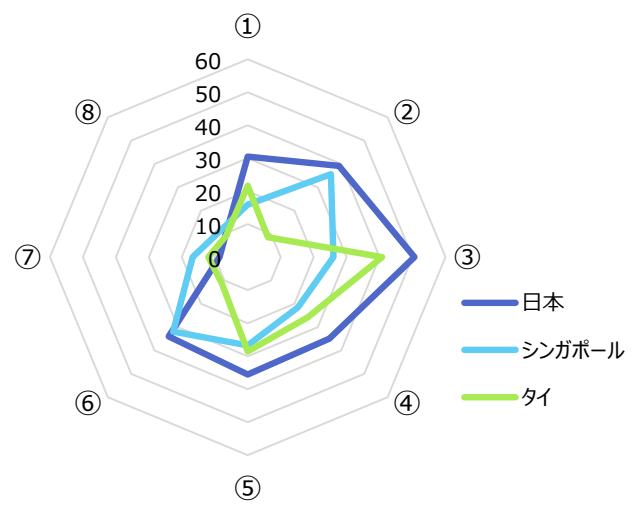
その国・地域を観光のために訪れたい理由

- 他の国・地域と比較すると、日本は多言語対応への評価が低く、新型コロナ収束後においても一層の取り組みが必要とされているといえる。
- また、台湾と比較すると、日本は新型コロナの被害が少ない国と評価されているとは言い難い。
- 一方で、日本は「買い物」「食事」「治安の良さ」に加え、「清潔さ」が高く評価されている。
- 新型コロナ収束後は、ウイルス対策全般の継続などの安全・安心に関する取り組みを徹底するとともに、「清潔さ」という更なる強みを活かすべく、それぞれの言語で正確な情報発信をすることが重要だと考えられる。

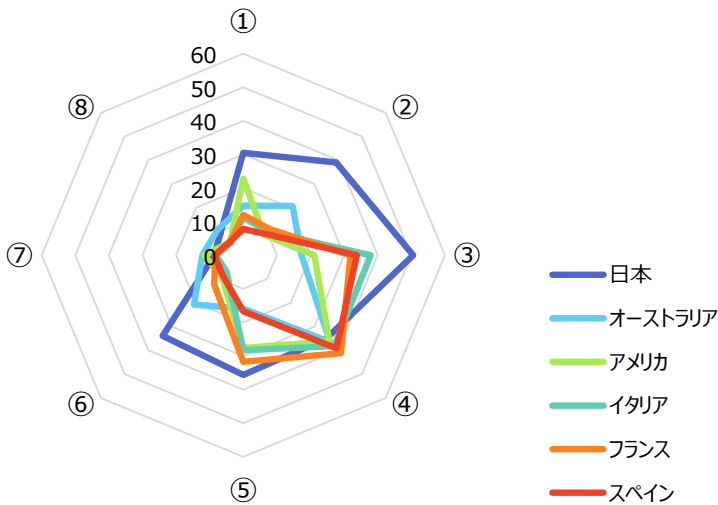
東アジア



東南アジア



欧米豪



- ① 以前も旅行したことがあり、気に入ったから
- ② 清潔だから
- ③ 食事が美味しいから
- ④ 体験したいツアーやアクティビティがあるから
- ⑤ 買い物がしたいから
- ⑥ 治安が良いから
- ⑦ 多言語に対応しているから
- ⑧ 新型コロナの被害が少ない国・地域だったから

回答はあてはまるものすべて、%

3. 次の訪日（北海道）旅行への意向

日本の観光地への認知度「これらの観光地を知っていますか？」

- 「北海道」の認知度は、12地域全体で46%（順位5位）、アジア全体で61%（順位4位）と、ゴールデンルート*に次いでトップレベルにある。一方で、欧米豪全体では認知度は16%（順位11位）と、アジア全体に比べて低位にとどまっている。
 - 道内の各観光地の中では、アジア全体・欧米豪ともに、認知度は「北海道」に次いで「札幌」が高く、3番手に「函館」が続く。アジア全体では、「旭川／富良野」の認知度も高く、2桁の比率となっている。
 - 台湾・香港では、道内各観光地の認知度が全体的に他国よりも高い水準にあり、「ニセコ」を除く地域で2桁の比率となっている。
 - これらの結果は2019年調査と比較しても大きな変化はない。
- *ゴールデンルート・・・東京、箱根、富士山、名古屋、京都、大阪

サンプル数→	全体		アジア																	
					韓国		中国		台湾		香港		シンガポール		タイ		マレーシア		インドネシア	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
	6,139		4,127		531		537		500		499		514		516		509		521	
北海道	46	⑤	61	④	59	⑤	54	③	82	①	70	②	63	④	58	③	62	④	39	⑤
札幌	36	⑦	47	⑦	60	④	31	⑭	74	⑦	64	⑦	45	⑦	45	⑥	35	⑨	25	⑪
函館	16		22		13		13		61	⑯	44	⑱	17	⑲	11		10	⑳	5	
旭川／富良野	9		12		3		8		36		28		7		5		6		4	
帯広／十勝	6		7		2		6		19		20		3		4		2		2	
ニセコ	5		6		3		8		8		4		10		6		4		2	
知床／阿寒	4		6		2		7		14		13		3		4		2		2	

東京	59	①	66	①	68	①	55	②	78	③	71	①	67	①	63	②	69	①	56	①
富士山	54	②	62	③	54	⑥	61	①	75	⑥	66	⑥	64	②	65	①	63	③	49	③
大阪	52	③	62	②	66	②	54	④	80	②	70	②	63	③	54	⑤	64	②	49	②
京都	49	④	58	⑤	63	③	53	⑤	76	⑤	68	④	58	⑤	56	④	52	⑤	43	④
沖縄	39	⑥	48	⑥	49	⑨	43	⑧	77	④	66	⑤	46	⑥	37	⑨	41	⑥	28	⑨
九州	26	⑭	36	⑫	49	⑧	28	⑰	67	⑪	57	⑪	26	⑭	31	⑫	22	⑯	11	⑰

サンプル数→	欧米豪									
	アメリカ		オーストラリア		イギリス		フランス			
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	16	⑪	13	⑪	22	⑨	15	⑫	15	⑫
札幌	15	⑫	15	⑩	18	⑫	17	⑪	11	⑭
函館	4		4		4		3		3	
ニセコ	3		2		4		2		1	
帯広／十勝	2		2		2		3		2	
旭川／富良野	2		2		2		3		2	
知床／阿寒	2		2		2		3		1	

東京	47	①	41	①	52	①	49	①	44	①
富士山	37	②	33	②	43	②	42	②	31	④
大阪	32	③	23	④	40	③	32	④	33	③
京都	31	④	22	⑥	34	④	31	⑤	35	②
沖縄	21	⑧	22	⑤	23	⑦	19	⑨	19	⑨
九州	6	⑰	4		9	⑰	6	⑳	7	⑮

回答はあてはまるものすべて、%
順位は20位まで表示

日本の観光地への訪問意向「日本のどこに行きたいですか？」（日本の地名を知っていると回答した方）

- 「北海道」への訪問意欲は、12地域全体で29%（順位4位、2019年調査5位）、アジア全体で38%（順位2位、2019年調査3位）となっており、ゴールデンルートに次いでトップレベルにある。台湾・香港では2012年調査開始より9年連続で「北海道」への訪問意欲が1位となっている。一方、欧米豪全体では7%（順位10位、2019年調査9位）とアジアに比べて低い水準となっている。
- 道内の各観光地の中では、「札幌」の訪問意欲が最も高く、次いでアジア全体では「函館」であるが、欧米豪全体では「札幌」以外の地域は1%程度にとどまっている。

サンプル数→	全体		アジア																	
					韓国		中国		台湾		香港		シンガポール		タイ		マレーシア		インドネシア	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
	5,726		3,985		509		536		491		489		487		507		484		482	
北海道	29	④	38	②	22	⑤	31	④	55	①	43	①	47	①	42	③	40	③	23	⑤
札幌	17	⑦	23	⑥	29	②	11	⑪	35	⑥	28	⑦	21	⑦	26	⑥	16	⑦	14	⑦
函館	6	⑱	8	⑱	2				25	⑪	19	⑫	7	⑮	3		3	⑱	2	
旭川／富良野	3		3		1				9		11		1		2		1		1	
帯広／十勝	2		2		1				4		6		1		1		1		0	
二世コ	2		2		1				2		1		5	⑳	2		1		1	
知床／阿寒	1		2		1				3		5		1		1		1		1	

東京	41	①	42	①	32	①	35	②	42	③	39	②	47	②	46	②	47	①	46	①
富士山	34	②	37	③	19	⑦	41	①	34	⑦	32	⑤	41	④	50	①	42	②	39	②
大阪	29	③	34	④	25	④	27	⑤	42	④	34	④	42	③	32	④	38	④	34	③
京都	28	⑤	33	⑤	28	③	33	③	44	②	37	③	35	⑤	32	④	27	⑤	26	④
沖縄	18	⑥	22	⑦	19	⑥	16	⑧	39	⑤	32	⑥	23	⑥	15	⑧	21	⑥	11	⑩
九州	9	⑬	12	⑫	13	⑨	6		23	⑬	17	⑭	9	⑭	13	⑪	8	⑫	4	⑰

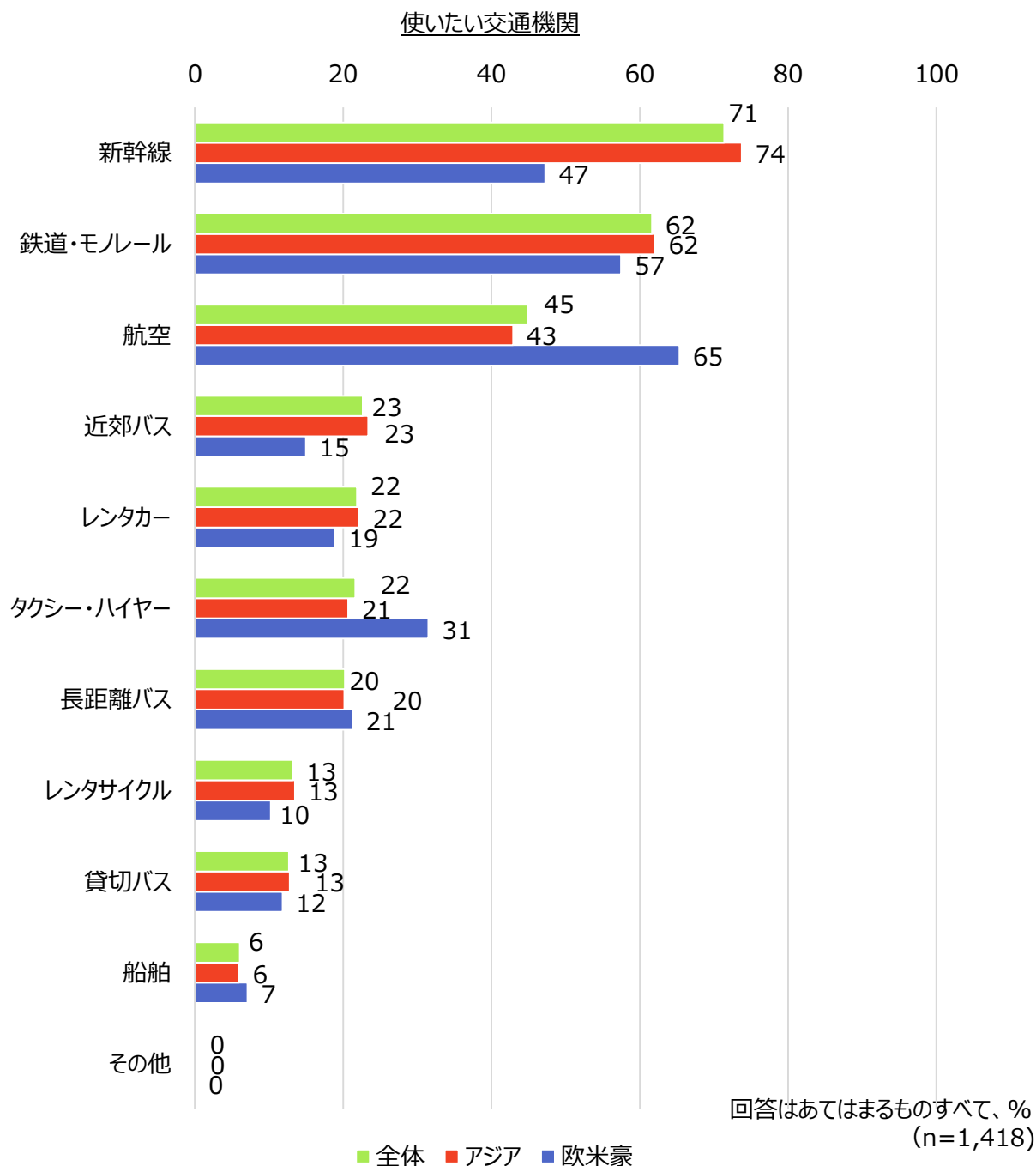
サンプル数→	欧米豪									
	アメリカ		オーストラリア		イギリス		フランス			
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	7	⑩	6	⑨	9	⑦	6	⑩	7	⑨
札幌	6	⑬	5	⑫	8	⑫	5	⑫	5	⑬
旭川／富良野	1		1		1		2		2	
函館	1		1		1		1		1	
帯広／十勝	1		1		1		1		1	
知床／阿寒	1		2		1		1		0	
二世コ	1		1		1		1		0	

東京	38	①	33	①	42	①	40	①	39	①
富士山	28	②	25	②	28	②	33	②	26	②
大阪	18	③	14	③	22	③	17	③	19	④
京都	18	③	13	⑤	20	④	17	③	23	③
沖縄	8	⑦	10	⑥	8	⑩	7	⑧	8	⑧
九州	2	⑱	1		4	⑰	2		3	⑰

回答はあてはまるものすべて、%
順位は20位まで表示

日本国内で使いたい交通機関

- 北海道訪問希望者において、利用したい交通機関は「新幹線」「鉄道・モノレール」の占める割合が高く、日本の新幹線や鉄道が海外から一定の評価を得ていることがうかがえる。
- アジアでは「新幹線」を利用したい回答が最も多い。また、欧米豪と比較すると、「鉄道・モノレール」「近郊バス」「レンタカー」の回答数が多く、エリア内で周遊する旅行が希望されている可能性がある。
- 欧米豪では「航空」を利用したい回答が最も多い。自国からの渡航距離が遠く訪日経験者も少ないことから、航空の利用により、一度の日本旅行で日本各地の周遊が希望されている可能性がある。
- 北海道はゴールデンルートに次いで訪日外国人からの訪問希望が高いが、新幹線や航空機の利用により、国内長距離間での周遊が行われる可能性がある。



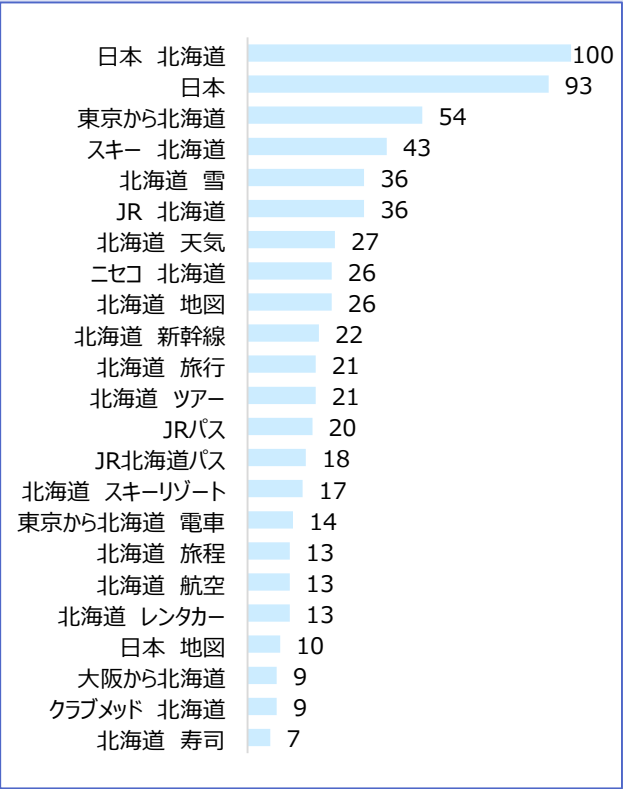
参考) Google Trends分析

- Google Trendsとは、あるキーワードのGoogleで検索人気度をグラフで視覚的に把握できるサービスであり、「人気度」は100に近いほど高くなる（【検索条件】国籍：全て、期間：2019/5/31-2021/5/31、カテゴリ：旅行）。
- 「Hokkaido」のキーワードに対して、シンガポールを筆頭にアジアからの人気は一定程度あるものの、アジア地域に比べると欧米地域の人気度は低位に留まっており、今後人気度を上げていく余地がある。
- 「Hokkaido」の関連キーワードでは、「スキー」や「雪」など冬期観光が連想されるキーワードが多く検索されていることに加え、「東京」、「大阪」などの他都市と一緒に検索される傾向があり、日本の観光地を周遊する外国人旅行者が一定数いることが伺える。
- 道内の観光地別人気度を比較すると、「ニセコ」と「札幌」が上位にあり、全体として冬期に検索数が上振れる。新型コロナ禍においては、各地とも新型コロナ禍以前を下回る水準にあり、関心のつなぎ止め対策が求められる。

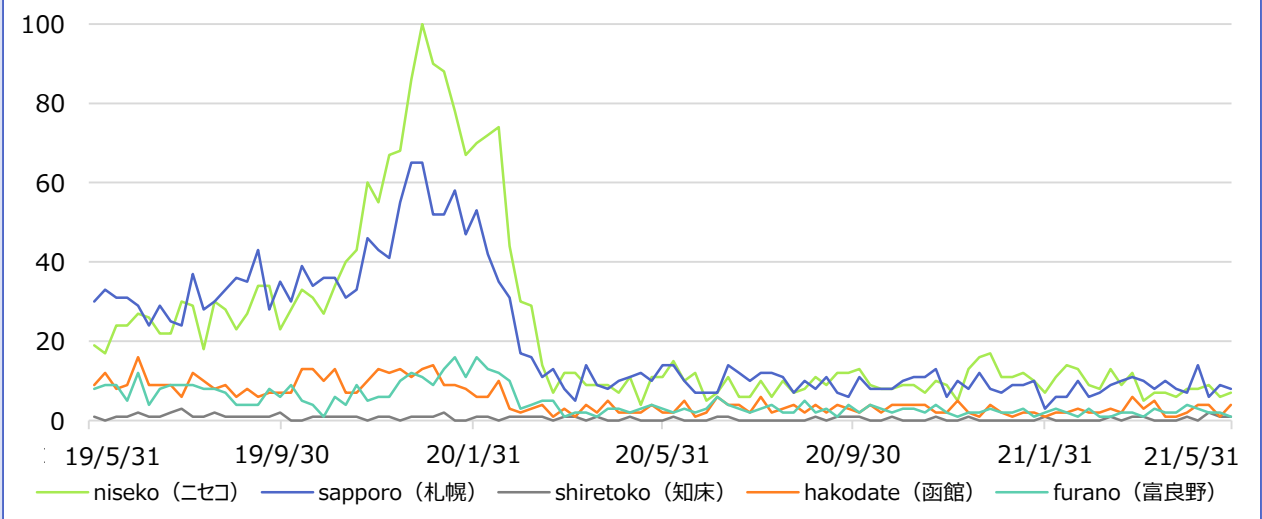
「Hokkaido」地域別インタレスト

インタレスト	国
100	シンガポール
35	グアム
30	香港
21	マレーシア
18	ブルネイ
13	タイ
10	マカオ、フィリピン
9	オーストラリア
8	中国
7	日本
5	ニュージーランド
4	ベトナム、台湾、イタリア
3	スロベニア、スロバキア、インドネシア、UAE
2	スイス、フィンランド、カナダ、米国、韓国
1	イギリス、スウェーデン、チェコ、ドイツ、ノルウェー、オーストリア、ベルギー、フランス他

「Hokkaido」関連キーワード（人気）



北海道内の観光地別人気度

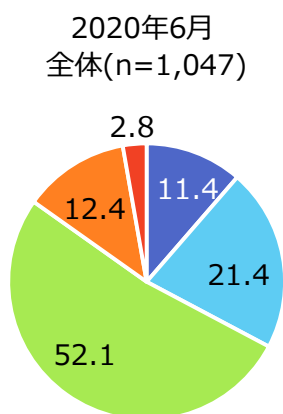


- 北海道で体験したいことについては、「自然や風景の見物」「雪景色観賞」が同水準で上位となっており、2019年調査と比較しても大きく変わらず、また、収入者層別による差も特段みられない。
- 全国と比較すると、北海道は「スノーアクティビティ（スキー、スノーボード）」「自然や資源を損なうことのないよう配慮されている観光地・観光ツアー」の占める割合が高い点が特徴となっている。
- 東南アジアでは、上記に加え「桜の観賞」「紅葉の観賞」「日本の文化体験」といった日本独特の四季や文化について関心が高いことと、「スイーツ」「食品や飲料のショッピング」といった食に関する関心も高いことがうかがえる。

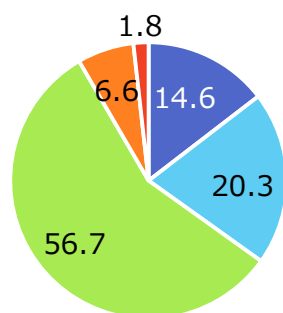
	全体			東アジア			東南アジア			欧米豪		
	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層	低 収 入 者 層	中 収 入 者 層	高 収 入 者 層
サンプル数→	573	763	769	292	350	343	227	324	324	54	89	102
「見る」項目												
自然や風景の見物	62	62	63	64	63	65	65	67	65	43	43	48
雪景色観賞	64	60	61	68	67	67	65	60	63	35	33	36
桜の観賞	36	35	35	27	23	26	48	48	43	35	37	36
紅葉の観賞	37	36	35	28	25	23	49	48	48	31	37	32
有名な史跡や歴史的な建築物の見物 （説明の充実度含む）	36	37	36	28	28	29	43	45	42	52	47	40
日本庭園の見物（説明の充実度含む）	35	34	36	25	23	22	44	45	46	48	38	46
近代的／先進的な建築物の見物（説明 の充実度含む）	24	26	22	20	19	17	30	34	26	24	22	25
ドラマや映画のロケ地・アニメの舞台の見物	27	28	26	23	18	24	35	39	28	9	26	22
伝統工芸品の工房見学・体験	31	33	31	25	26	23	38	41	38	35	31	32
世界遺産の見物（説明の充実度含む）	34	40	39	26	33	30	41	47	45	41	39	47
イベント・祭りの見物	32	33	34	29	26	31	36	42	37	26	27	29
スポーツ観戦	16	19	15	12	14	15	22	24	15	17	18	16
「楽しむ／体験する」項目												
美術館や博物館の鑑賞（説明の充実度 含む）	26	28	24	22	20	18	31	36	30	26	30	25
遊園地やテーマパーク	24	24	21	18	20	15	31	29	28	22	19	16
繁華街の街歩き	30	34	29	18	26	22	43	43	36	41	36	29
スノーアクティビティ（スキー、スノーボード 等）を楽しむこと	47	46	46	48	50	50	54	49	49	15	20	20
マリナクティビティを楽しむこと	18	23	20	13	17	18	24	30	23	22	24	16
その他のアウトドアアクティビティ（サイクリ ング、フィッシング等）を楽しむこと	27	28	25	21	20	22	36	39	29	24	21	24
伝統芸能鑑賞（歌舞伎や能）	22	24	22	15	17	16	27	31	27	35	28	26
ナイトライフ（バーやクラブ、芸者遊び等） 体験	18	23	18	15	17	13	22	30	22	17	21	24
温泉への入浴	50	50	51	52	55	57	52	52	52	28	25	28
フルーツ狩り	28	30	26	23	23	20	37	39	37	17	20	14
日本文化の体験（茶道、華道、着物試 着など）	36	34	31	28	25	18	44	44	44	37	38	32
伝統工芸品の制作や購入	30	30	28	25	23	20	34	39	34	39	24	32
自然や資源を損なうことのないよう配慮され ている観光地・観光ツアー	44	42	44	39	38	41	52	49	51	41	31	34
「食べる」項目												
伝統的日本料理	47	52	54	46	46	50	50	59	63	43	47	42
現地の人が普段利用しているカジュアルな 食事	42	46	47	38	42	40	49	53	56	35	39	40
日本の酒（日本酒・焼酎）	34	35	33	30	34	31	39	35	36	28	35	26
スイーツ	36	35	34	34	33	34	41	40	38	30	28	23
「買う」項目												
ブランド品や宝飾品のショッピング	18	21	15	14	16	11	23	26	20	20	22	13
洋服やファッション雑貨のショッピング	22	24	22	16	19	17	30	32	27	17	18	20
電化製品のショッピング	14	20	14	9	16	11	22	23	18	13	18	11
化粧品や医薬品の購入	23	24	21	22	18	21	26	32	24	17	17	13
食品や飲料のショッピング	35	37	37	29	33	35	43	46	44	31	26	24
その他	1	1	0	1	0	0	0	1	0	2	1	1

新型コロナ収束後の海外旅行の希望する滞在日数

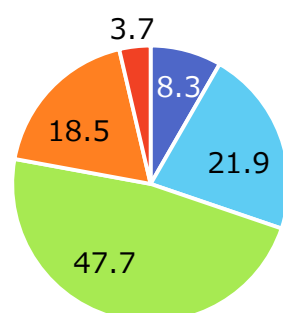
- 北海道訪問希望者において、1回あたりの滞在日数が「長くなる」「どちらかといえば長くなる」と回答した割合は「短くなる」「どちらかといえば短くなる」よりも高くなっている。欧米豪の方がアジアよりも滞在日数が長くなると回答した割合が高い。
- 前回調査と比較すると「長くなる」「どちらかといえば長くなる」の割合が増加しており、欧米豪は特にその傾向がある。



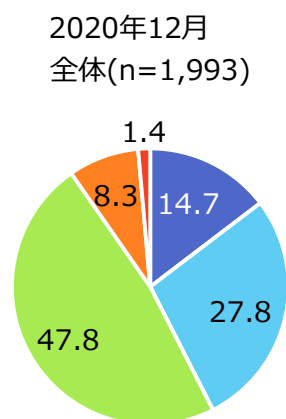
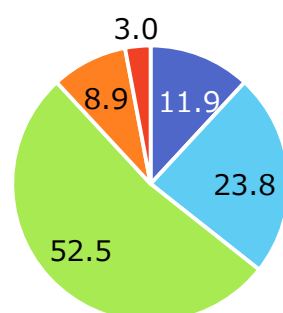
東アジア(n=453)



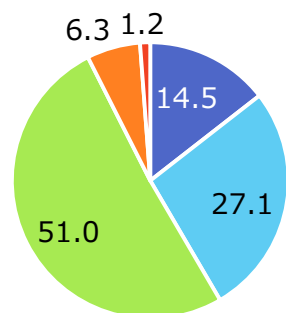
東南アジア(n=493)



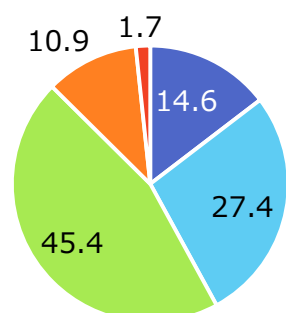
欧米豪(n=101)



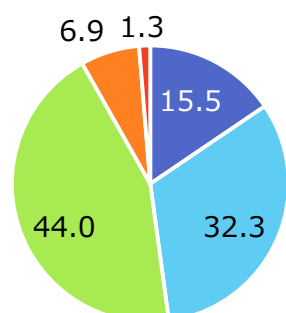
東アジア(n=926)



東南アジア(n=835)



欧米豪(n=232)

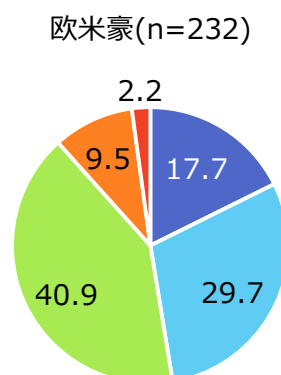
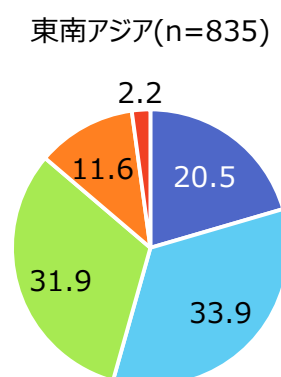
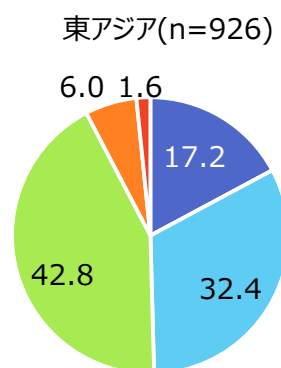
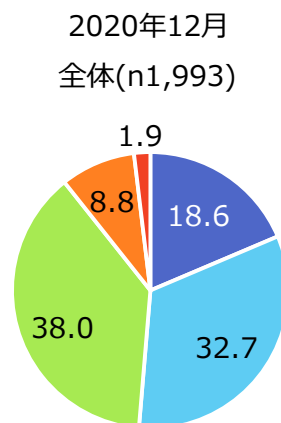
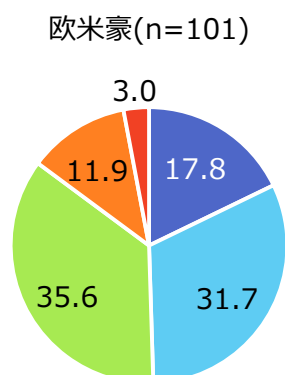
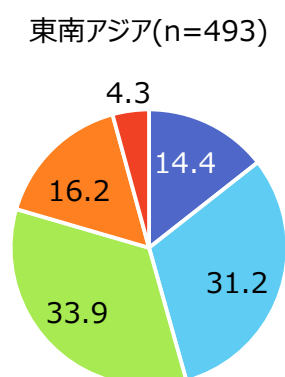
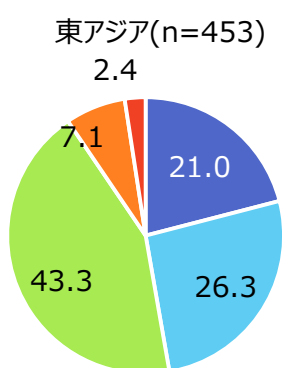
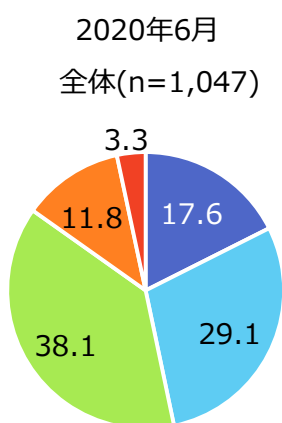


単一回答、%

■ 長くなる ■ どちらかといえば長くなる ■ 変わらない ■ どちらかといえば短くなる ■ 短くなる

新型コロナ収束後の海外旅行の予算

- 北海道訪問希望者において、新型コロナ収束後の海外旅行について予算が「増える」「どちらかといえば増える」と回答した割合は、「減る」「どちらかといえば減る」よりも高くなっており、2020年6月調査よりその割合は増加している。
- 東南アジアで予算が増えると回答した割合が最も高い。



■ 増える ■ どちらかといえば増える ■ 変わらない ■ どちらかといえば減る ■ 減る

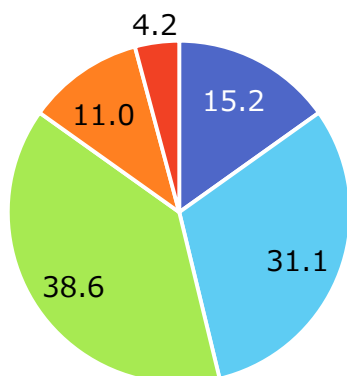
単一回答、%

新型コロナ収束後の海外旅行の予算（収入者層別）

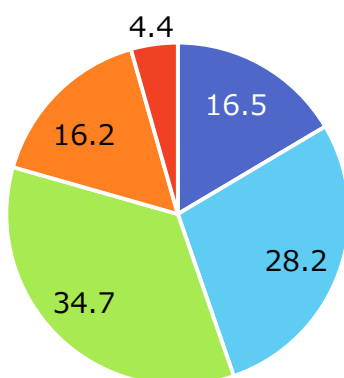
- 収入者層別では、高収入者層が予算が増えると回答した割合がもっとも高いが、どの収入者層においても増加している。
- 新型コロナ収束後は、北海道においても旅行者の消費単価は上昇する可能性がある。

2020年6月

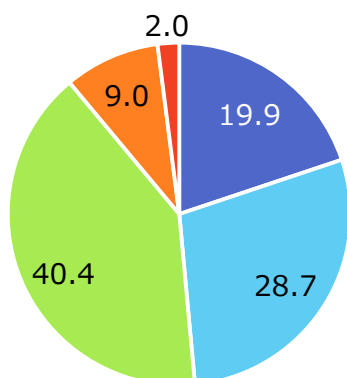
低収入者層(n=264)



中収入者層(n=340)

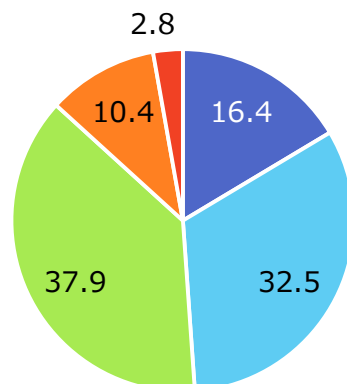


高収入者層(n=443)

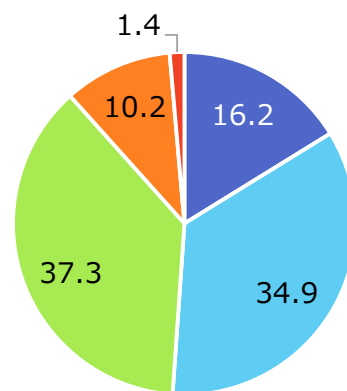


2020年12月

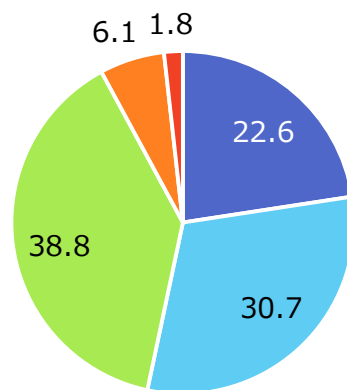
低収入者層(n=536)



中収入者層(n=722)



高収入者層(n=735)



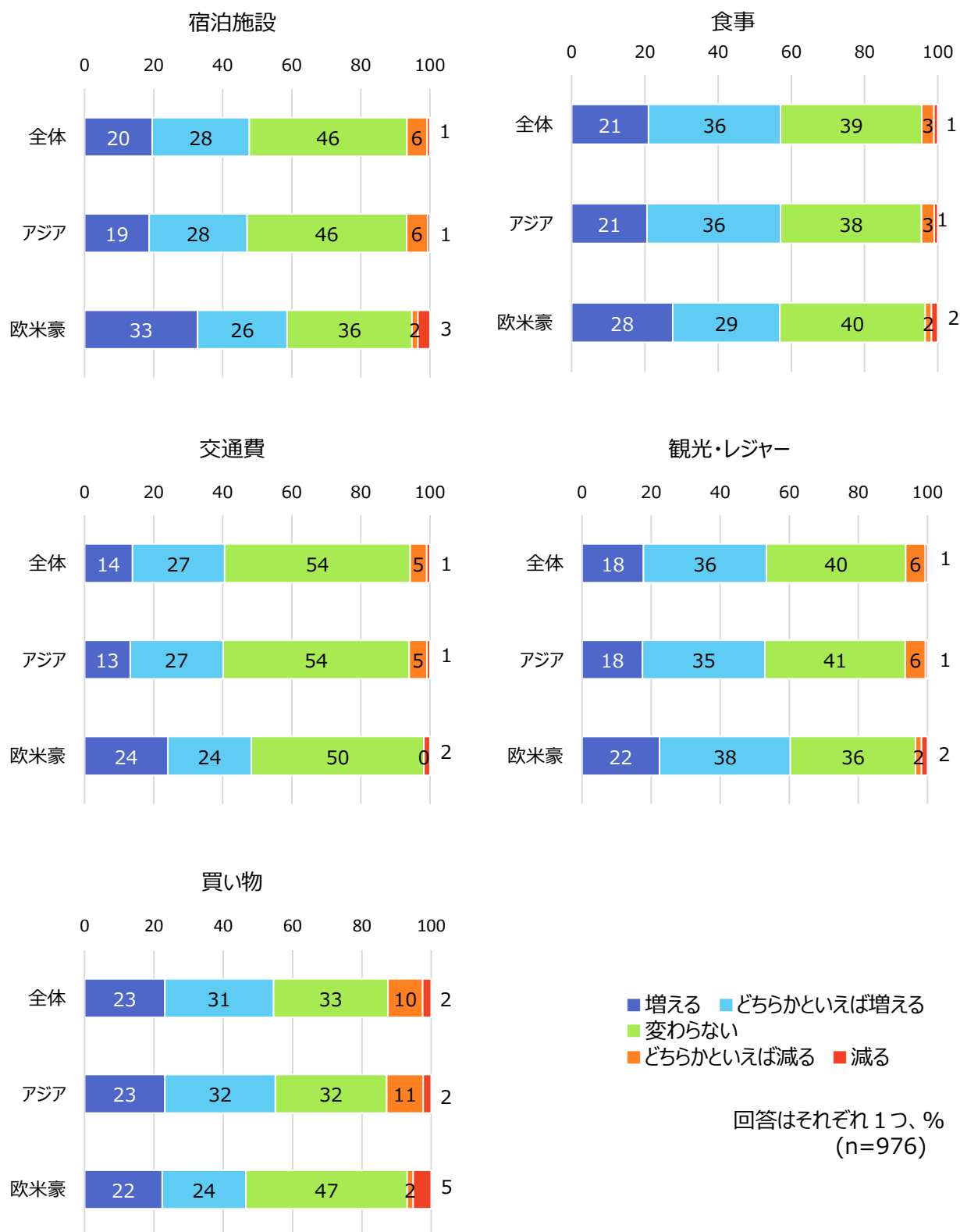
■ 増える ■ どちらかといえば増える ■ 変わらない ■ どちらかといえば減る ■ 減る

単一回答、%

日本で使う1回あたりの旅行予算はどのように変化しそうか

- 新型コロナ収束後の日本で使う1回あたりの予算は新型コロナ発生以前に比べて、どの項目においても「増える」「どちらかといえば増える」と回答した割合が「減る」「どちらかといえば減る」よりも高くなっている。
- 特に食事について「予算が増える」「どちらかといえば増える」と回答した割合が高く、今後、例えば地元の食材を使用した飲食サービス提供等の充実が期待できる。

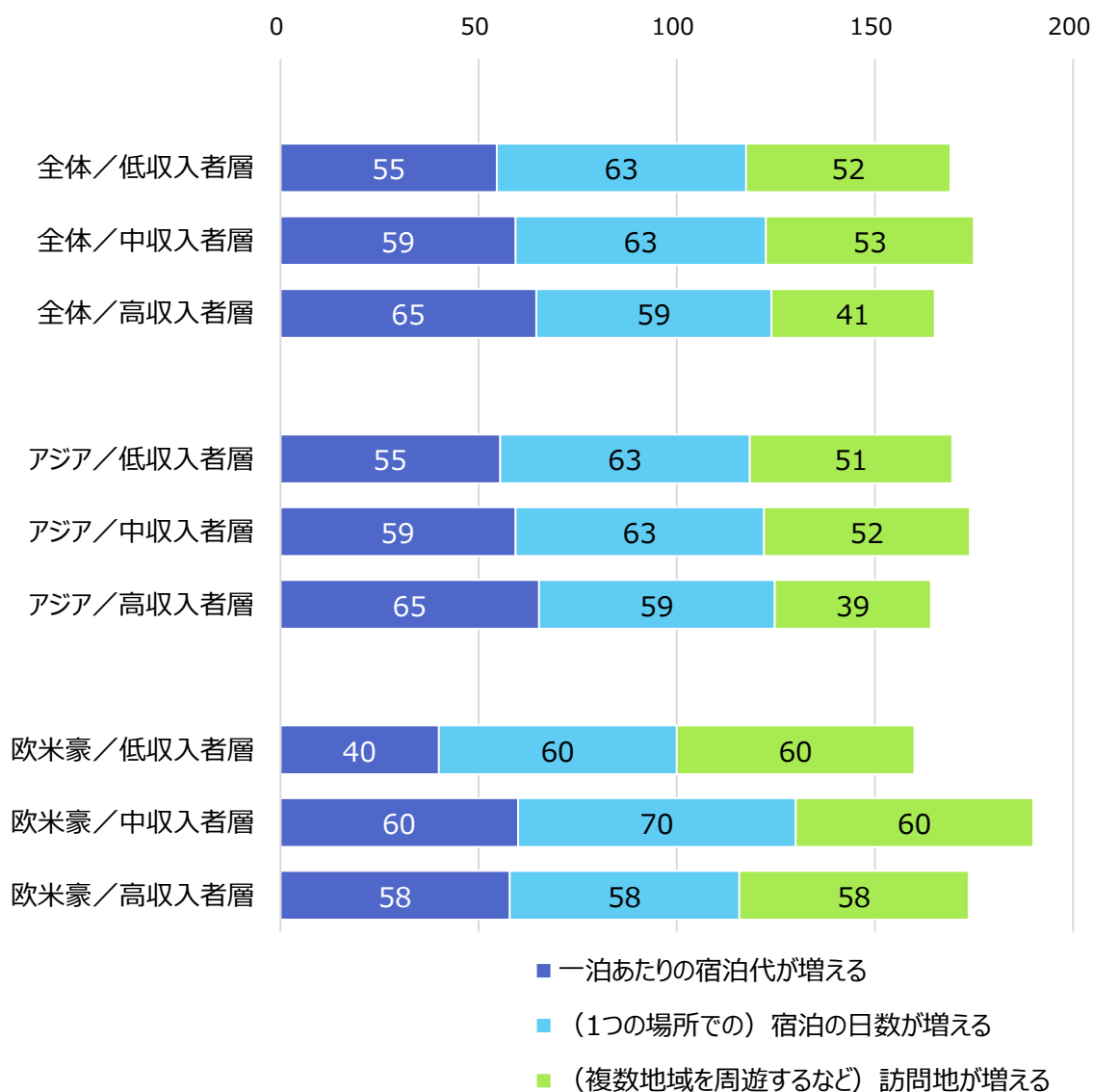
新型コロナ収束後、日本で使う1回あたりの旅行予算はどのように変化するか



宿泊予算はどのように変化しそうか

- 宿泊予算の増加について、北海道訪問希望者はどの地域も「（1つの場所での）宿泊の日数が増える」と回答した割合が約6割となっている。
- 新型コロナの影響で移動に制限がかかっているため、次の旅行は宿泊費の予算を増やし、1つの場所での滞在日数が長期化することが予想される。また欧米豪においては「（複数地域を周遊するなど）訪問地が増える」割合が高くなっている。
- 今後は1つの場所に滞在し、1泊あたりの宿泊代が増えるニーズが高まっていくことが考えられるため、宿泊施設のサービスの拡充が期待される。

宿泊予算はどのように変化しそうか



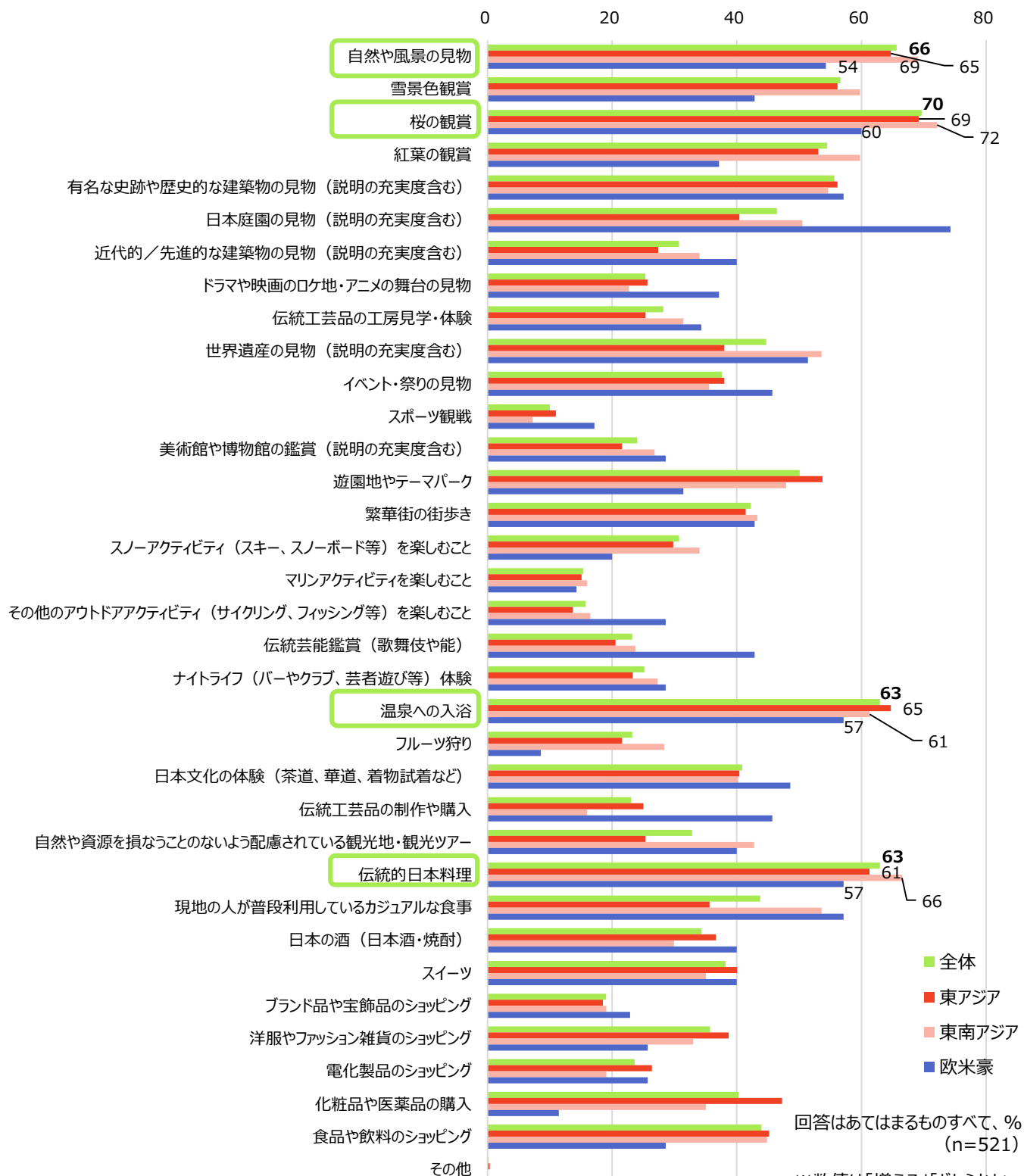
回答あてはまるものすべて、%
(n=466)

日本旅行をする際に体験したいこと

(北海道訪問希望者かつ観光・レジャー予算増額予定の回答者)

- 観光・レジャー予算が増額予定と回答した北海道訪問希望者が、日本旅行をする際に体験したいことは、どの地域においても「自然や風景の見物」「桜の観賞」「温泉への入浴」「伝統的日本料理」の割合が高い。

日本旅行をする際に体験したいこと（北海道訪問希望者かつ観光・レジャー予算増額予定の回答者）

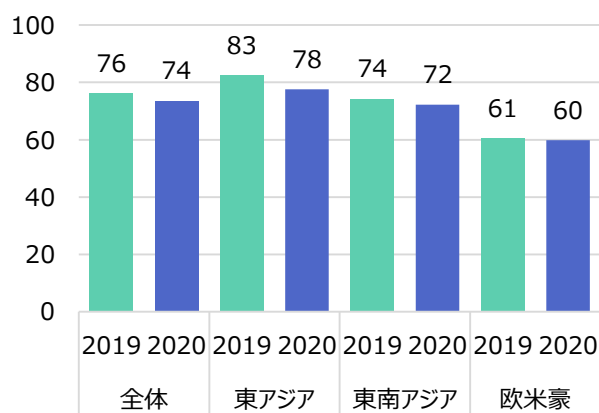


※数値は「増える」「どちらかといえば増える」の合計

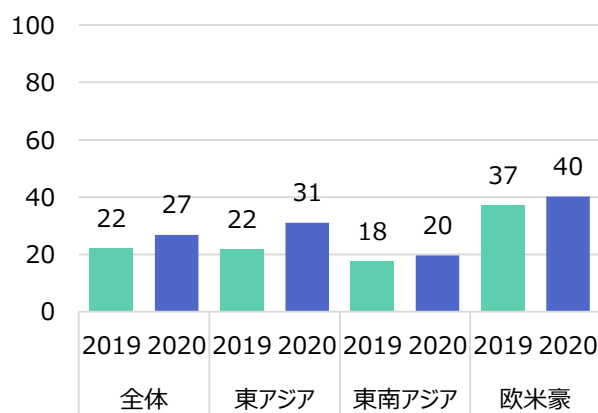
希望する宿泊施設（新型コロナ前後で比較）

- 新型コロナ前後（2019年調査・2020年12月調査）を比較すると、「温泉のある日本旅館」は、新型コロナ後の人気が下がっている。他人と共同で利用する温泉施設の利用に対して、感染症への不安を感じている可能性がある。
- 東南アジアは、東アジアや欧米豪と比較して「ユースホステル・ゲストハウス」や「現地の人から有料で借りる家・アパート」を希望する割合が高い。家族等の比較的大人数で旅行が希望されていることや、希望する宿泊代金が低いことが影響している可能性がある。

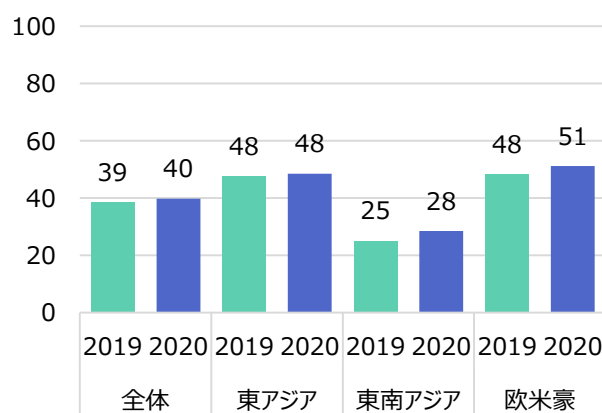
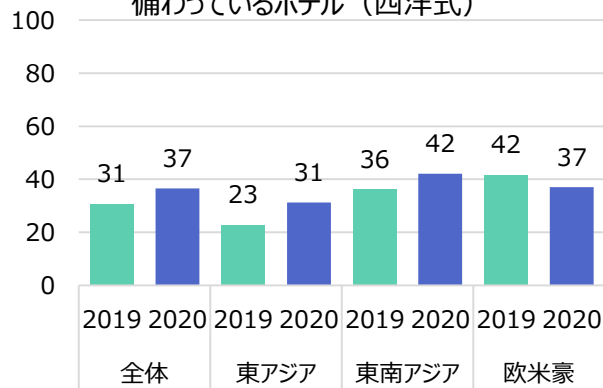
温泉のある日本旅館



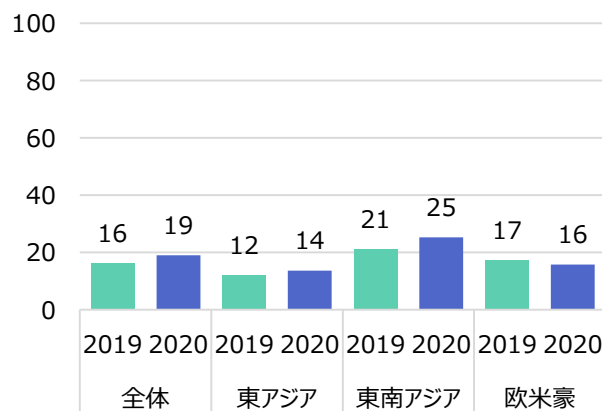
日本旅館（温泉なし）



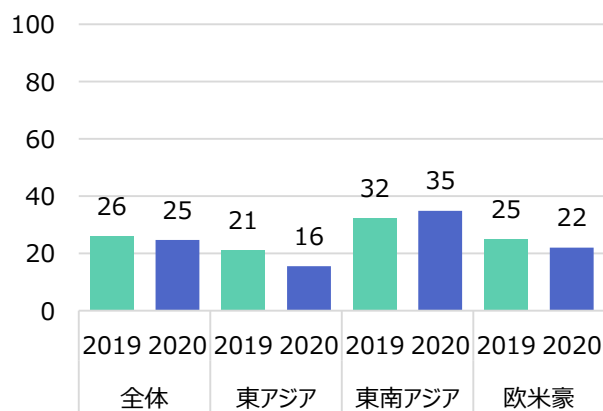
豪華で快適な高級ホテル（西洋式）

安価で基本的な設備のみが
備わっているホテル（西洋式）

ユースホステル・ゲストハウス



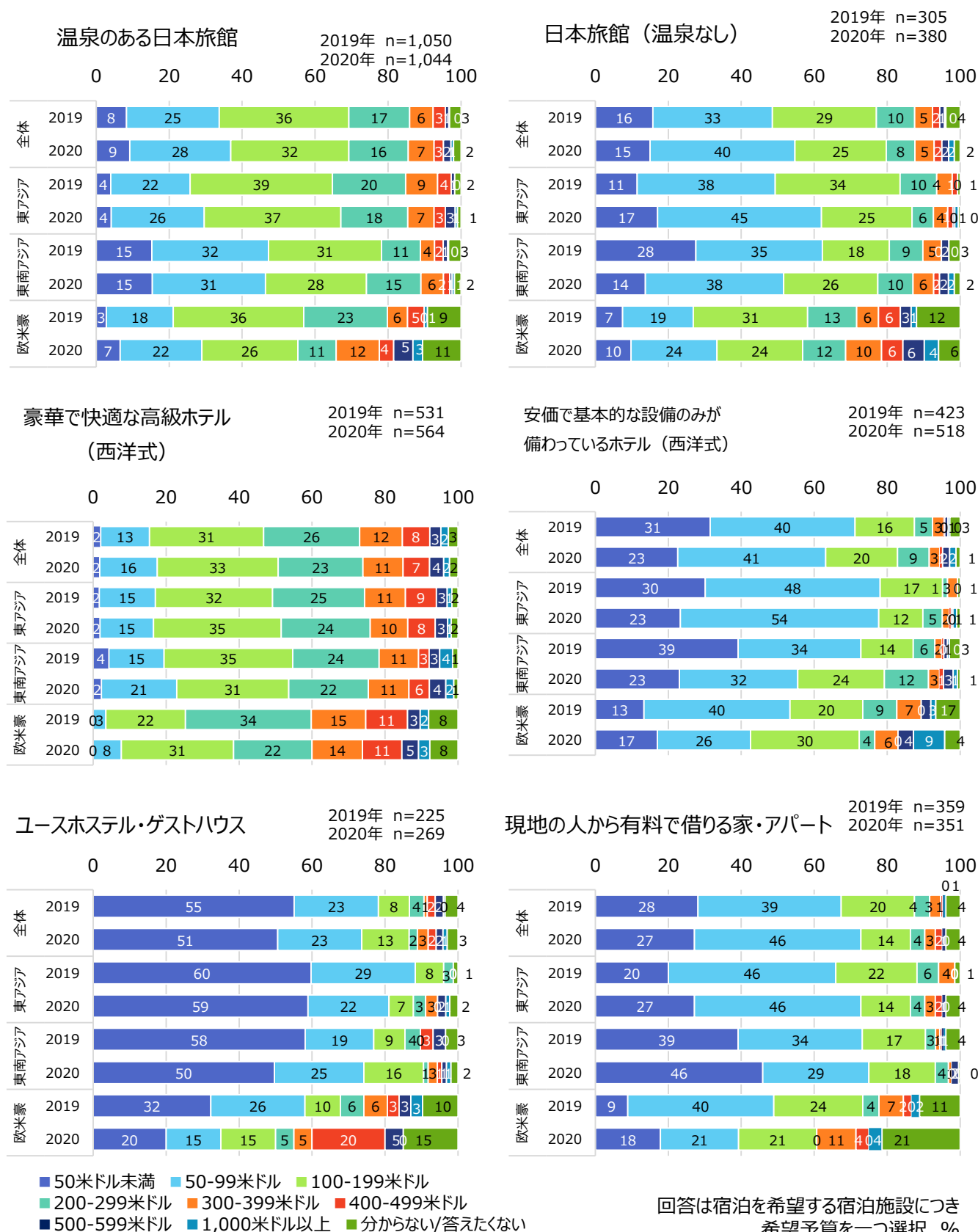
現地の人から有料で借りる家・アパート



回答はあてはまるものすべて、%、2019年（n=6,266）、2020年（n=6,139）

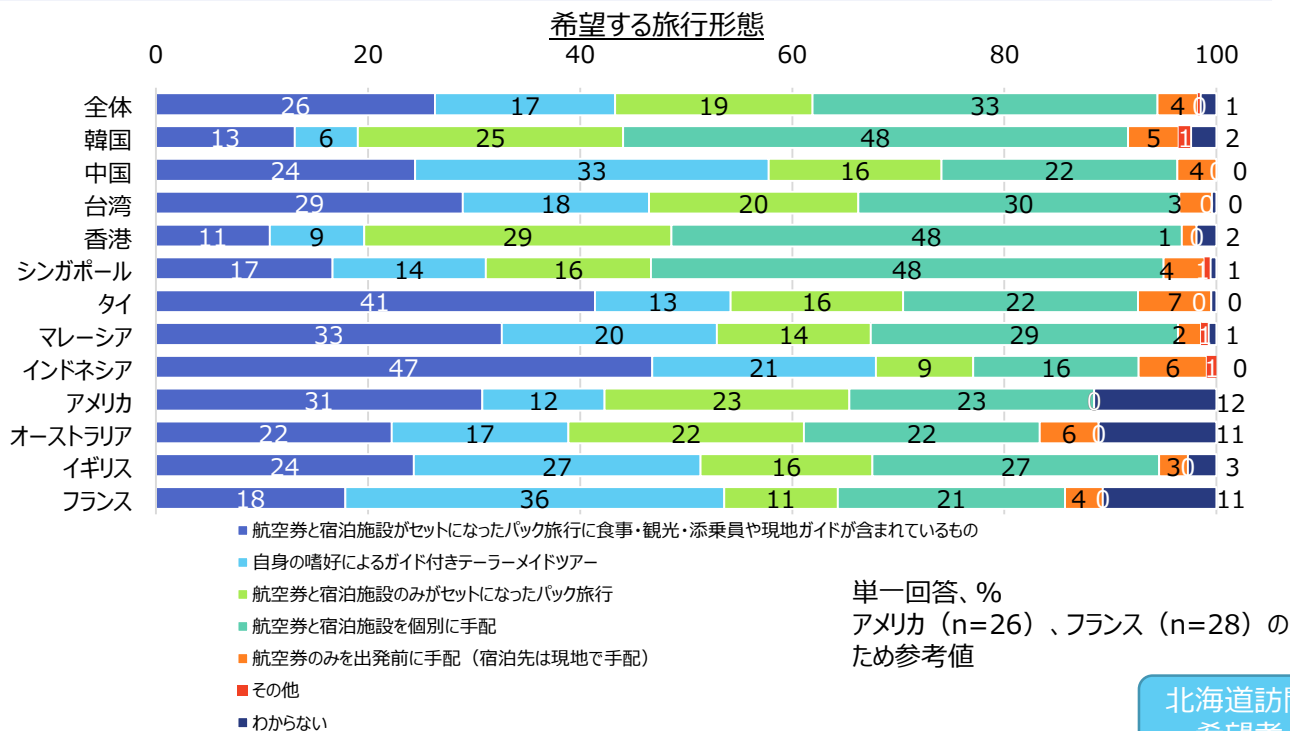
希望する宿泊施設の予算（新型コロナ前後で比較）

- 新型コロナ前後（2019年調査・2020年12月調査）を比較すると、「温泉のある日本旅館」「日本旅館（温泉なし）」「豪華で快適な高級ホテル（西洋式）」は99米ドル以下の低価格帯の人気の上がった傾向にあるが、「安価で基本的な設備のみが備わっているホテル（西洋式）」「ユースホステル・ゲストハウス」では低価格帯の希望が下がった傾向にある。
- 地域毎に比較すると、東南アジア＜東アジア＜欧米豪の順に希望予算が高くなっている。



希望する旅行形態

- 韓国、香港、シンガポールでは、他国・地域と比較してFIT（パッケージツアー等を利用しない個人旅行）の割合が高い。
- 中国、東南アジア、欧米豪では、言語の壁、距離の遠さ、ビザの発給等により日本旅行へのハードルが高いため、団体旅行やガイド付きツアーで旅行する割合が高くなる可能性がある。



希望する旅行同伴者

- アジアでは韓国を除き複数人での旅行を希望する傾向にあり、特にタイ、マレーシア、インドネシアでは「子供」「親」「子供・親以外の家族」の割合が高い。
- 欧米豪では、アメリカ、オーストラリアでは「一人で」の回答が多い。また、イギリス、フランスでは「配偶者・恋人」の回答が多く、「子供」「親」「子供や親以外の家族」の回答が少ない。アジアに比べて少人数（一人または二人）での旅行が高く希望されている可能性がある。

		一人 で	友人	配偶 者・ 恋人	自分 の子 供	自分 の 親	外 自 分 の 家 族 子 供 ・ 親 ・ 族 親 以 上	そ の 他
	↓ n							
全体	1,418	7.2	28.3	67.3	32.9	20.7	13.5	0.5
アジア全体	1,291	6.1	29.7	67.2	33.2	22.3	14.5	0.5
韓国	84	14.3	36.9	60.7	22.6	20.2	8.3	1.2
中国	135	3.7	24.4	85.2	45.2	12.6	4.4	0.0
台湾	228	5.3	29.4	67.1	29.8	28.1	14.0	0.4
香港	214	5.6	35.0	69.6	24.8	19.2	7.9	0.5
タイ	203	3.9	28.6	61.6	36.9	22.7	21.2	0.0
シンガポール	180	8.3	27.2	63.3	31.7	20.6	12.8	1.1
マレーシア	138	6.5	37.0	58.0	30.4	26.8	25.4	0.7
インドネシア	109	5.5	18.3	73.4	48.6	26.6	22.0	0.9
欧米豪全体	127	18.1	13.4	68.5	29.9	3.9	3.9	0.0
アメリカ	26	30.8	7.7	57.7	30.8	3.8	0.0	0.0
オーストラリア	36	27.8	16.7	52.8	25.0	8.3	11.1	0.0
イギリス	37	8.1	13.5	81.1	29.7	0.0	0.0	0.0
フランス	28	7.1	14.3	82.1	35.7	3.6	3.6	0.0

回答はあてはまるものすべて、%
アメリカ（n=26）、フランス（n=28）のため参考値

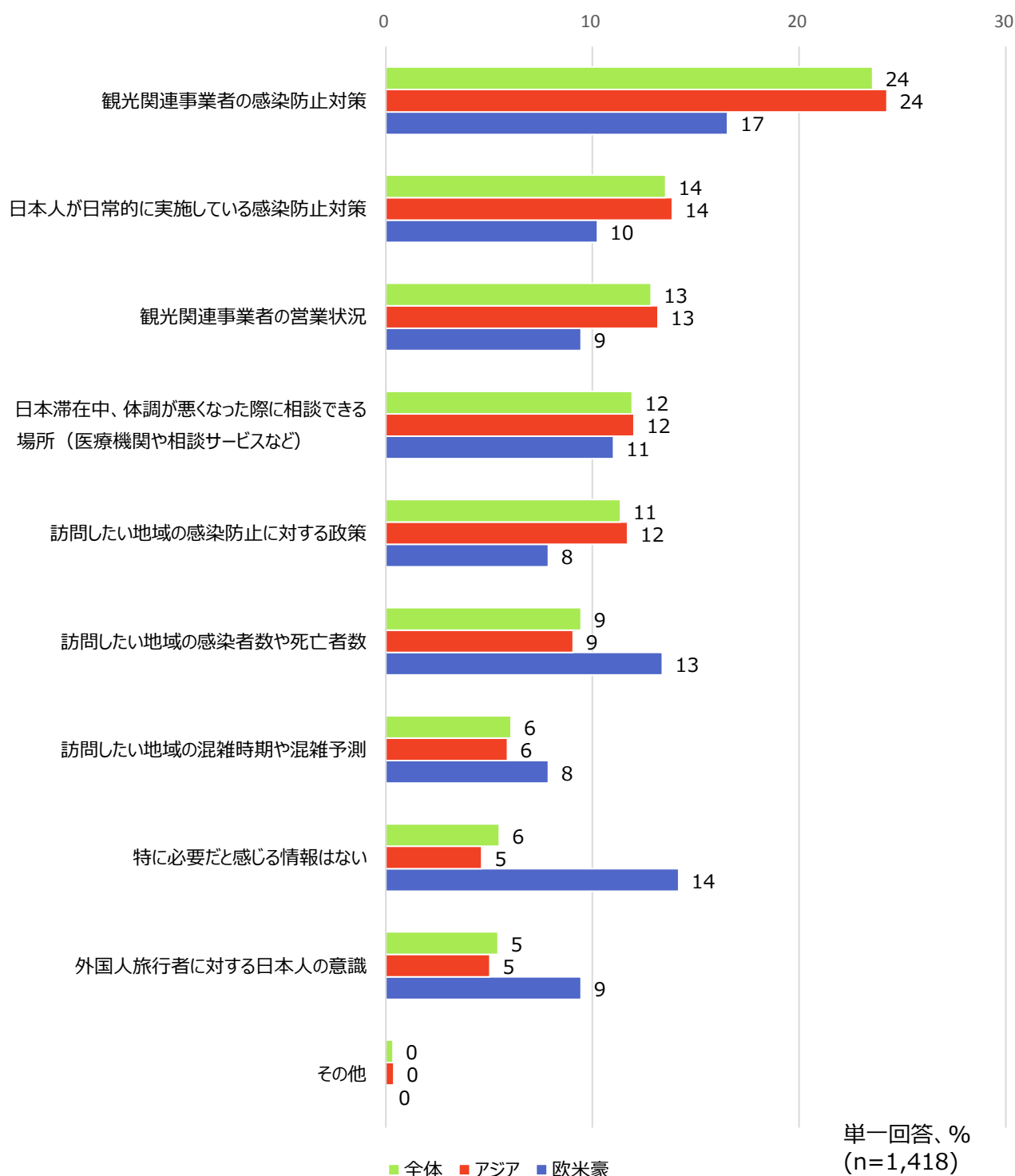
全体に対して5ポイント以上高いものを赤いセル、10ポイント以上高いものを赤太字で示した。また、全体に対して5ポイント以上低いものを青いセル、10ポイント以上低いものを青太字で示した。

4. 求められる新型コロナ対策

観光目的で訪日する場合、安心して旅行をするために計画段階で最も必要だと感じる情報

- 安心して旅行するために計画段階で必要と感じる情報についてみると、「観光関連事業者（宿泊施設、飲食店、交通機関、レジャー施設など）の感染防止対策」が23.6%と最も高い。特にアジアで、24.2%と高くなっており、観光関連事業者の新型コロナ対策の感染防止に関する情報提供が求められているといえる。
- アジアでは上記項目に加えて「日本人が日常的に実施している感染防止対策」(13.9%)、欧米豪では「特に必要だと感じる情報は無い」(14.2%)、「訪問したい地域の感染者数や死者数」(13.4%)の割合が高くなっている。

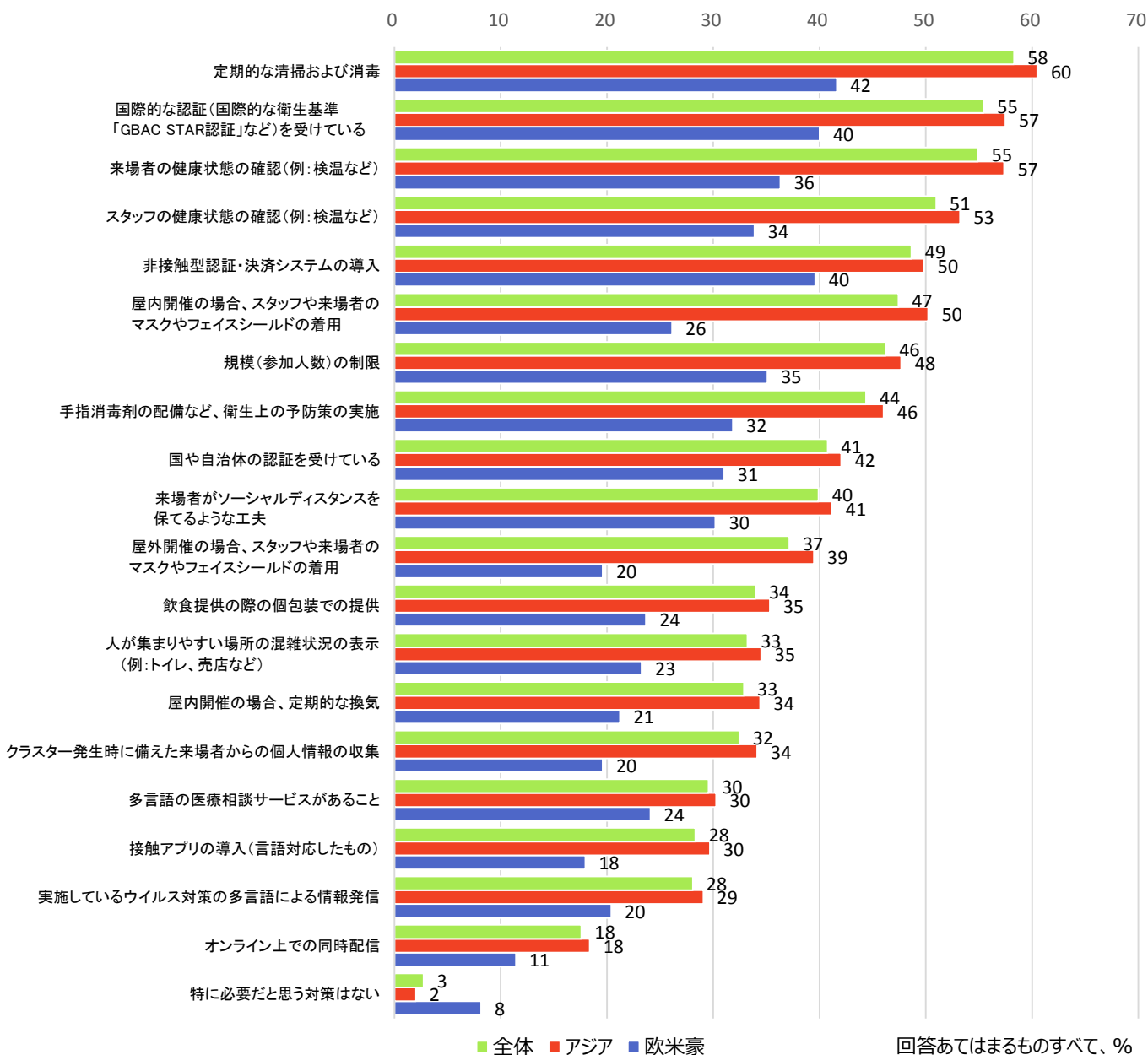
訪日旅行・北海道 最も必要だと感じる情報



今後、日本で国際イベントがある場合、必要だと思う準備や配慮

- 国際イベント時に会場側及び主催者がとるべき対策は、アジアで選択率が高く、慎重であることがうかがえる。

国際イベント時に必要な準備・配慮

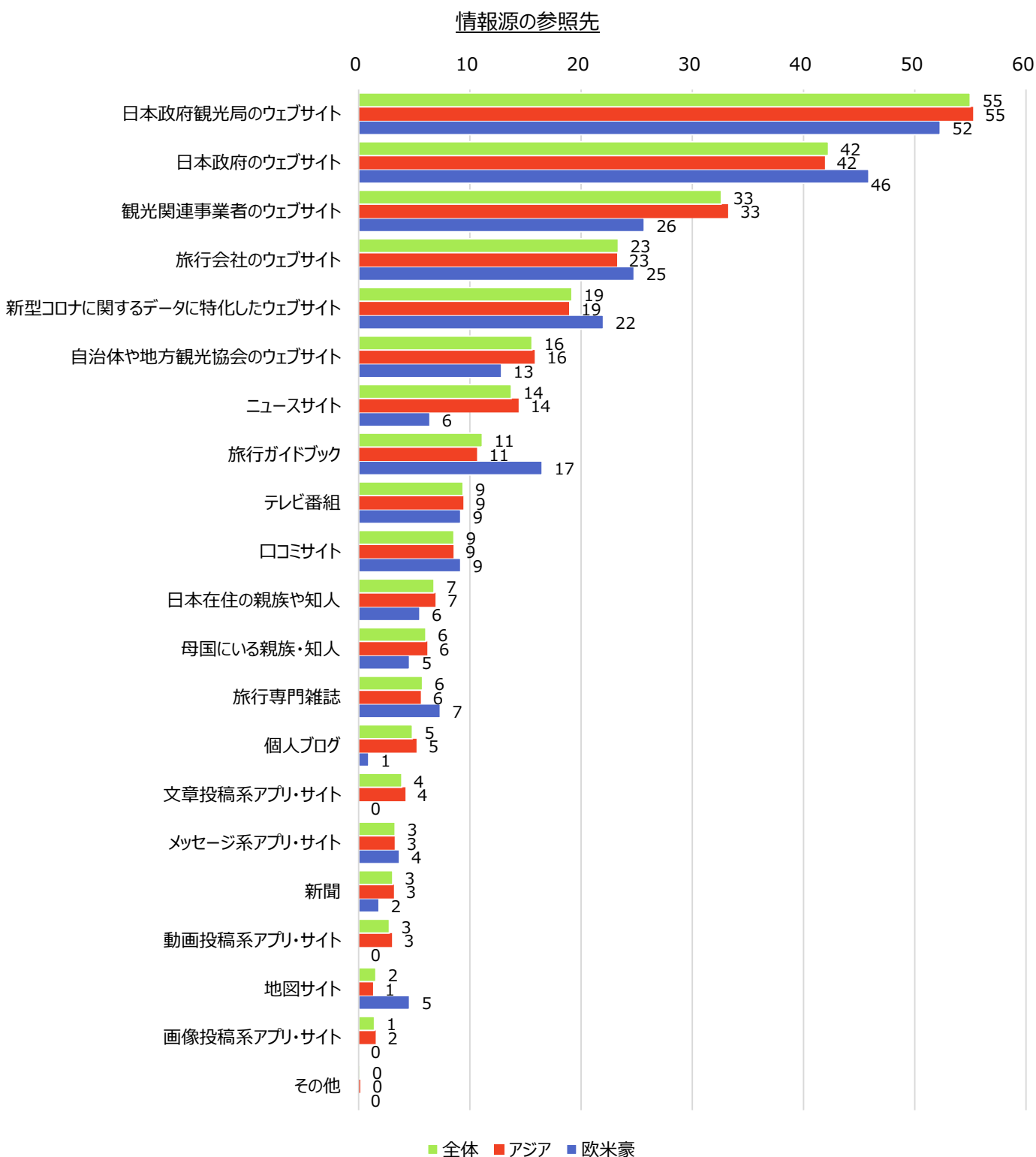


参考) 国際的な衛生認証制度例

- ・ 国内外の衛生認証制度のうち、世界各地から申請可能であり、観光庁も認証取得のため取得マニュアルを公開している「GBAC STAR™認証」を一例として取り上げる。
- ・ 「GBAC STAR™認証」とは、世界的な洗浄業界団体であるInternational Sanitary Supply Association (ISSA) 内の感染症予防などに関する施設の運営基準を提唱する部門のGlobal Biorisk Advisory Council (GBAC)が認定する国際的認証プログラム。
- ・ 2020年5月に米国で誕生以降、北米中心に普及しつつあり、日本ではホテル・MICE施設中心に24の施設(大倉東京、パレスホテル東京、パシフィコ横浜など)が認証されている(2021/5/31時点)。
- ・ 審査は全てオンラインにて行われ、書類提出からおおよそ4~8週間程度で認証を取得することができ、認証施設には「GBAC STAR™ロゴ」の使用が対外的に認められる。

次に訪日旅行を計画する際に必要な情報を得るための情報源

- 北海道訪問希望者が計画段階で参照する情報源については「日本政府観光局のウェブサイト」「日本政府のウェブサイト」「観光関連事業者のウェブサイト」の順に割合が高くなっている。
- 欧米豪では「日本政府のウェブサイト」「旅行会社のウェブサイト」「新型コロナに関するデータに特化したウェブサイト」「旅行ガイドブック」の割合が全体とアジアよりも高くなっている。



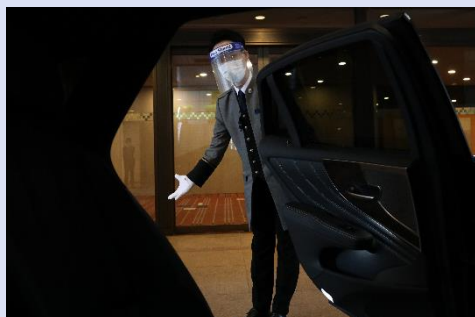
複数回答、%
(n=1,340)

参考) 感染防止対策事例

- 感染症対策の優劣が、旅行者における観光地の選定理由となる中で、各自治体及び各観光事業者は、感染防止対策の徹底を含めたニューノーマルな旅行形態への対応と適切な情報発信が求められている。
- (株)帝国ホテルでは、感染症対策に係る動画や、宿泊者が体調不良となった場合のガイドラインなどをHPに掲載し、感染症対策の周知を行っている。
- また、「帝国ホテル 東京」では国際的な衛生基準「GBAC STAR™認証」を取得している。

(株)帝国ホテルの感染症対策取組事例

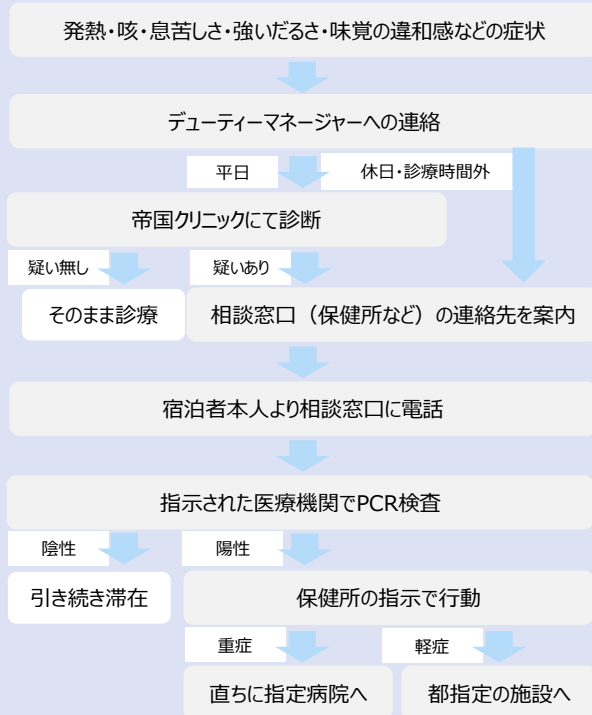
① 感染症対策の様子



写真：(株)帝国ホテルより拝領

出所：(株)帝国ホテルHP「新型コロナウイルス感染症への安全対策について」より

② 宿泊者が体調不良となった場合のガイドライン



参考) 外国人旅行者向けの北海道観光サイト

- 外国人旅行者向けの北海道観光サイトとして代表的なものは下記が挙げられる。
- 新型コロナに係る特設サイトの需要もアンケート結果から対応にあり、今後も外国人のニーズに沿った観光サイトを制作していく必要がある。

外国人旅行者向け観光サイト例

日本政府観光局	● 全国各地域の観光スポットの紹介や旅行プランの紹介など、外国人旅行者の観光目的に沿った情報を提供 ● 北海道のページでは、下記北海道観光振興機構HPにアクセス可能 ● 対応言語：英語、中国語、フランス語、アラビア語など
北海道観光振興機構	● より詳細な北海道の観光スポットや、旅行プランなどを紹介 ● 新型コロナウイルス対策施設紹介サイトを開設し、北海道が推奨する「新北海道スタイル」や業界別ガイドラインに沿った取組を実施している施設を紹介 ● 対応言語：英語、中国語、韓国語、インドネシア語
北海道庁	● 新型コロナに係る陽性患者数やPCR検査数など、最新の感染動向情報を提供 ● 対応言語：英語、中国語、韓国語など



©Development Bank of Japan Inc.2021

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

（お問い合わせ先）

株式会社日本政策投資銀行 北海道支店 企画調査課

〒060-0003

札幌市中央区北3条西4丁目1 日本生命札幌ビル4F

Tel：011-241-4117

E-mail：hkinfo@dbj.jp

HP： <http://www.dbj.jp/co/info/branchnews/hokkaido/>